

# 政策と調査

第3号

2012年（平成24年）12月

---

## 目 次

卷頭言	.....	松本 正生	1
-----	-------	-------	---

〔論 文〕

タブレット端末による出口調査の試行	.....	大栗 正彦	4
-------------------	-------	-------	---

期日前出口調査の効用と方法論	.....	僧都 儀尚	6
----------------	-------	-------	---

選挙予測の課題 一調査手法および運用と予測式の影響を探る一	..	松田 咲二	10
-------------------------------	----	-------	----

---

## 卷頭言

「第2回世論・選挙調査研究大会」は、2012年9月に、埼玉大学東京ステーションカレッジにおいて開催された。本号は、第2回研究大会の特集号として刊行したものである。

大会は、セッション1：出口調査、および、セッション2：選挙予測調査の二部構成とした。出口調査セッションでは、大栗正彦氏（中日新聞社）による「タブレット端末による出口調査の試行」と、僧都義尚氏（北海道新聞情報研究所）による「期日前出口調査の効用と方法論」の報告が行われた。大栗氏の報告は、出口調査にタブレット端末を使用するという本邦初の試みの紹介であり、参加者の方々の大きな注目をあびた。報告からは、コストの問題は存在するものの、タブレット調査の効用と実査可能性とが示唆された。僧都氏の報告は、同氏の所属する北海道新聞情報研究所がこれまで蓄積してきた期日前出口調査をめぐる経験の紹介であり、同氏ならびに同研究所が期日前調査に関する実践的な精緻化をすでに確立されていることがうかがわれた。

選挙予測調査セッションでは、松田映二氏（世論調査メソドロジスト・元朝日新聞社）による「選挙予測の課題－調査手法および運用と予測式の影響を探る－」の報告が行われた。松田氏の報告は、現行のRDD調査がかかえる問題を、①カバレッジ、②ノン・レスポンス、③メジャーメントの3点から検討し、選挙予測の課題を総合的に提示するものであった。松田氏は最後に、「既存の予測モデルが通用しない事態が生じつつある」との認識を強調された。

今回の大会では、報告者はもちろん、討論者にもプロフェッショナルの精緻がそろってくださった。有意義な議論を開いてくれた報告者、討論者の方々にあらためて感謝を申し述べたい。

来年9月（予定）の第3回研究大会では、2012年12月の総選挙、2013年7月の参院選を経て、数々の新たな事例と知見とが紹介されることだろう。今から開催が楽しみである。世論調査関係者のみなさまの一層の精進を祈りつつ。

2012年11月

埼玉大学社会調査研究センター長  
松本 正生



▲松本社会調査研究センター氏による開会の挨拶



▲人型正彦氏(中日新聞社)による「タブレット端末による出口調査の試行」の研究報告

## 2012 世論・選挙調査研究大会 会場風景



▲出口調査セッションのメンティター(左:上智大学の渡辺久哲氏、右:毎日新聞社の島田昌也氏)



▲アロアからのコメント(アダムス・コミュニケーションの佐木隆氏)



▲鈴鹿信尚氏(北海道新聞出版研究所)による「明日の出口調査の動向と方法論」の研究報告



▲選挙予測調査セッションのメンティター(左:読売新聞社の正田知久氏、中:朝日新聞社の中西豊樹氏、右:東京大学の高田幸男氏)

▲アロアからのコメント(船井コンピュータの神谷弘行氏)



▶高田幸二氏(世論調査メソドロジスト・元朝日新聞社)による「選挙予測の課題」の研究報告

# 世論・選挙調査研究大会プログラム

埼玉大学社会調査研究センター

2012年9月20日(木)  
埼玉大学東京ステーションカレッジ(サピアタワー9F)

## セッション1：出口調査 13:00～14:45

〈報告〉① 「タブレット端末による出口調査の試行」

大栗 正彦 (中日新聞社)

② 「期日前出口調査の効用と方法論」

僧都 儀尚 (北海道新聞情報研究所)

(討論者) 福田 昌史 (毎日新聞社)

渡辺 久哲 (上智大学)

(司会) 松本 正生 (埼玉大学)

## セッション2：選挙予測調査 15:00～17:00

〈報告〉「選挙予測の課題－調査手法および運用と予測式の影響を探る－」

松田 映二 (埼玉大学・元朝日新聞社)

(討論者) 齋田 知久 (読売新聞東京本社)

中西 豊樹 (朝日新聞東京本社)

前田 幸男 (東京大学)

(司会) 松本 正生 (埼玉大学)

# タブレット端末による出口調査の試行 —御前崎市長選から—

大栗正彦

(中日新聞社)

## 1. はじめに

中日新聞社が行ってきた出口調査は紙の調査票を用意して、調査員が投票を終えた有権者に記入してもらい、その後まとめて携帯電話で入力、送信という方法をとってきた。近年のタブレット型の通信機器の急速な普及に注目して2012年4月15日投票の静岡県御前崎市長選で、福井コンピュータが開発した直接タブレット端末に入力する方法を日本で初めて使用した。ここではタブレット端末を使った出口調査の運用を示し、選挙結果との誤差や紙ベースで行つてきの出口調査の精度の差を検証する。

## 2. 調査方法

御前崎市長選は4月8日告示、15日投票。立候補者は現職石原茂雄、新人水野克尚、同村松晴久の3氏。停土中の中部電力浜岡原発の再稼働が争点になった。有権者数は27,460。投票所は期日前が2カ所、投票日が13カ所。過去に御前崎市で行われた各種選挙では期日前投票の割合が異常に高く、35%前後になっていたので、投票日直前の金曜と土曜日に期日前調査を行い、投票日は全13投票所で出口調査を行つた(表1)。

期日前調査は全てタブレット端末を使用、投票日調査は比較するためタブレット端末とスマートフォン、さらに紙の調査も行った。サンプル数は期日前調査で400、投票日調査は720

表1 御前崎市長選出口調査

期	サンプル数	340目標
日	実施日	金・土
前	地点数	2カ所
	条件	タブレット端末
投	サンプル数	720目標
票	地点数	13カ所
日	条件	タブレット端末 7カ所 スマホ 2カ所 紙 4カ所

サンプルとして投票所ごとの有権者数で配分した。従来と同じ紙の調査票を使ったのは4カ所で、同じ調査員が午前と午後で紙とタブレットになったり、同規模の隣接した投票所で紙とタブレットになったりするようにした。タブレットの画面は1問答えると次の画面になり、全て終了すると確認画面になりOKしたら送信。

調査員は30代から50代の女性で、出口調査経験者もいた。サンプル獲得の基本は男女交互、質問数は属性を含めて8問。奉公のないサンプルは無効とした。また声かけをして拒否された場合は調査拒否者としてカウントした。

## 3. 結果

選挙の投票率は76.6%だったが、期日前投票が投票総数の37%を占め、日曜日に投票した人は3人に2人しかいない特異な選挙だった。結果は表2の通り。

表2 御前崎市長選 選挙結果と出口調査

	選挙得票率	期日前出口	投票日出口
石原	57.9%	55.9%	55.4%
水野	33.0%	34.3%	35.2%
村松	9.1%	9.8%	9.4%

実際の選挙得票率と出口調査支持率はほぼ一致しており、数字上では出口調査はうまいといえる。紙の調査との差があったかみてみる。

「誰に投票したか」で見ると、紙では石原と水野がほぼ互角で、タブレット端末（スマホ含む）では石原が大きくリードしている（表3）。ただこれは媒体の要因ではなく投票区の影響によるものと推測できる。全13投票所の勝敗は石原の10勝3敗、紙で調査を行った投票区に水野の地元が含まれていたので、互角の支持になった。タブレット調査でも水野は地元ではリードしている。地元以外では隣接した紙とタブレット端末の調査地点で傾向に差は認められない。

表3 媒体による出口支持率の差

	石原	水野	村松
紙	45.5%	45.0%	9.4%
タブレット	60.0%	30.0%	9.9%
計	55.9%	34.3%	9.8%

表4 媒体による拒否率の差

	拒否数	協力数	拒否率
紙	107	202	34.6%
タブレット	230	503	31.4%
計	337	705	32.3%

次に紙とタブレットで調査拒否者に差があるかを見る。もしタブレットの方に拒否者が多いとしたらタブレット端末を出口調査に投入するのは時期尚早ということになる。拒否率は声かけをして拒否された人数と調査に協力してもらえた人数の合計に占める拒否者の割合。表4の通り紙もタブレットも差はなかった。拒否者はタブレットだからというより、「調査が嫌だ」という理由が多い。拒否率32.3%という数字はこれまでの中日新聞の出口調査と同じ割合である。

ただ調査員から「高齢の女性はタブレット端末を見ると腰が痛くなる人もいた」という報告も上がってきており、



スマホ、タブレット端末（中・大）

#### 4. メリット

最大の利点はスピード性。回答者が入力を終了したら5人分回答が集まったらデータが送信される。今回は8問の回答に早い人で1~2分程度で終了していた。紙の場合は調査員の入力・送信が必要だったが、この手間がなくなった。このため時間あたりのサンプル数が多く取ることが可能になる。また調査員に回答を見られないという安心感も回答者に与えられる。

今回は万一に備えてタブレット調査にも紙を準備したが、将来的には紙が不要になる。

#### 5. デメリット

大きく2つ。まず画面が暗いことがあげられる。屋根がある場所で調査ができればいいが、青空の場合には文字が読み取り難くなる。今回は調査員が読み上げる場面もあった。さらに高齢者が違和感なく接することができるよう文字サイズを大きくしたりする工夫がいる。

その他、端末の電池消耗も気になる。

#### 6. まとめ

御前崎市長選でのタブレット端末使用の実験は紙ベースと調査結果は遜色なかった。改良を加えれば十分国政選挙にも投入できる。

# 期日前出口調査の効用と方法論

曾都 優尚

(北海道新聞情報研究所)

## 1.はじめに

事前情勢調査（電話）は有権者を対象に投票結果を予測するのに對し、出口調査は投票者を対象に投票結果を把握するために行う。言うまでもなく、出口調査を正しい方法で実施すれば、その結果は投票者全体の範囲に近く、こうした出口調査を投開票日前に行い、早い段階で情勢を把握できるのが、期日前出口調査の利点である。

また、開票結果と期日前、投開票日両出口調査の結果との差を比較すると、そん色がない。現段階では、期日前出口調査は低予算でも確度の高い結果を得られる（図表1）。

本稿では期日前出口調査に焦点を当て、その効用を整理し方法論について紹介する。なお、ここで紹介するデータは図表2の調査に基づいている。

図表1 期日前・投開票日出口調査の結果比較

	期日前出口調査 候補者平均誤差	投開票日出口調査 候補者平均誤差
06年衆院選・小選挙区(42人)	±3	±3
10年参院選・選挙区(6人)	±1	±1
11年統一地方選・候補区(4人)	±2	±2

図表2 期日前出口調査の概要

	06年衆院選	10年参院選	11年統一地方選
サンプル数	21535	20226	20016
地点数	25	25	25
実施日	土、日、祝、土	土、日、祝、土	土、日、祝、土
回収条件	男女問答	男女問答	男女問答

## 2.期日前出口調査の効用

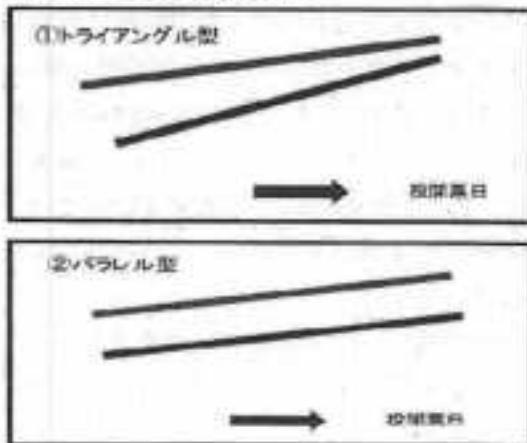
### ①選挙のタイプを分類

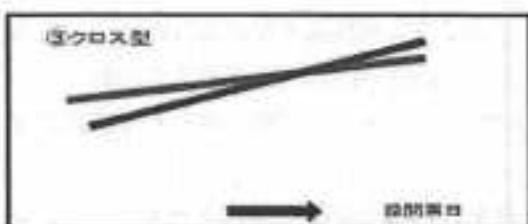
選挙戦は3つのタイプに大別される（図表3）。

3）。1つ目は「トライアングル型」で、両候補（党）の差が投開票日に近づくにつれて縮小するタイプを指す。これを国政選舉で例えるなら、民主党が自民党に追いつながら遅いつけなかつた04年参院選までが該当する。2つ目は05年、09年衆院選で見られた「パラレル型」。これは序盤から終盤にかけて、両候補の差が埋まらない選挙戦である。最後は「クロス型」。これは情勢調査の予測値と開票結果が異なる選挙戦で、民自に大阪維新の会など第三極が参入し混戦が予想される次期総選挙では多く見られると考えられる。

早い段階で選挙をタイプ別に分類できれば、投開票日出口調査の結果を持たずして、当日の取材体制や紙面制作などの準備ができる。期日前出口調査は、情勢調査と投開票日の間に実施されるケースが多く、情勢調査の結果と結び付けることで分類しやすくなる。特にクロス型選挙の場合、期日前出口調査なしでは予測が極めて難しい。

図表3 3つの選挙戦のタイプ





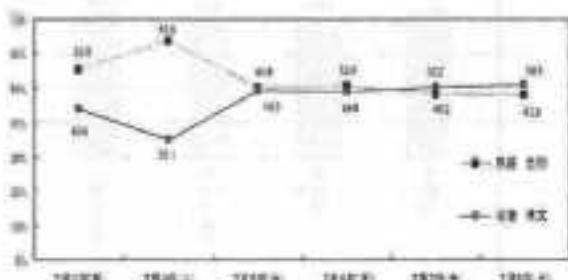
### ②定点観測が可能

投票開票日は1日しかないが、開票日前投票の期間は選挙の種類で異なるものの、5日～16日間ある。期間中、複数回の調査が可能で、そうすれば候補者の勢いを定点観測できる。

また、トライアングル型とクロス型は途中まで似た軌跡を描くので、定点観測すれば区別がつきやすい。

候補者の勢いから選挙戦の結果が予想できた好例は、06年苫小牧市長選である。告示直前の土・日曜日に行った情勢調査(800S)では、自民党元職で新人の岩倉博文が民主党系で元市長の島越忠行に大きく引き離されていた。しかし、全投票期間の6日間調査した期日前出口調査(1551S)から、両者の差は日々を追うごとに縮小し、投票開票日2日前の金曜日に逆転。最終的には、勢いに乗った岩倉が6000票差で勝利した(図表4)。

図表4 日別の調査結果(07苫小牧市長選)



### ③特殊性を見抜く

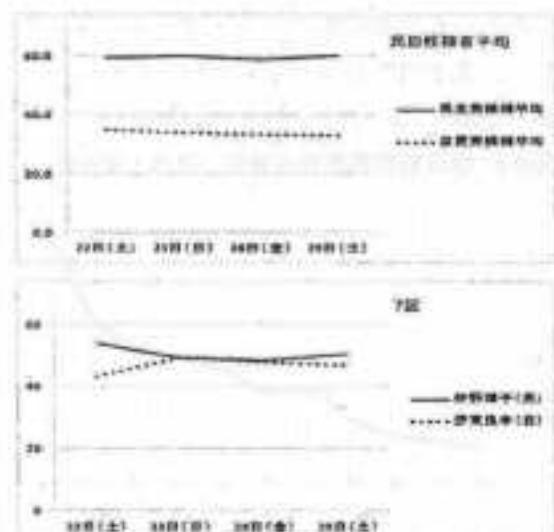
複数の選挙区で期日前出口調査を実施し、その結果を比較すると個々の選挙区の特殊性を早期に見抜くことができる。

09年衆院選の7区の調査結果は、他区と全く異なる傾向を示した。同区は民主党前職の

仲野博子に自民党新人の伊東良孝が挑んだが、全国的な民主党への追い風に翻弄されず、伊東はわずか900票差で勝利。新人ながら道内の自民党候補で唯一、小選挙区で勝ち抜いた。

投票期間中、調査は4回行ったが、民主党全候補の平均値は60%前後で、自民党全候補の平均値は30～40%の間で推移している。しかし、7区では、伊東は初日こそ仲野に約10ポイントリードを許したが、2日目、3日目で並び、最終日には3ポイント差となるなど、明らかに波形が異なる(図表5)。

図表5 日別における民自候補平均と7区(09衆)



## 2. 期日前出口調査の方法論

方法論を考える際、避けて通れないのがコストの問題である。選挙調査予算は予想獲得議席数を基準で競い合う情勢調査や、全投票者の8割を占める投票開票日出口調査に割く必要がある。予算が限られている以上、回数や地点数など設計面には制約が伴うので、どうしても作戦的に選定しなければならない。

その抑制策の一つが、より多くのサンプルを確保することであろう。現場で各社の実績を見た限り、同じ考え方で取り組んでいるのではないかと思われる。

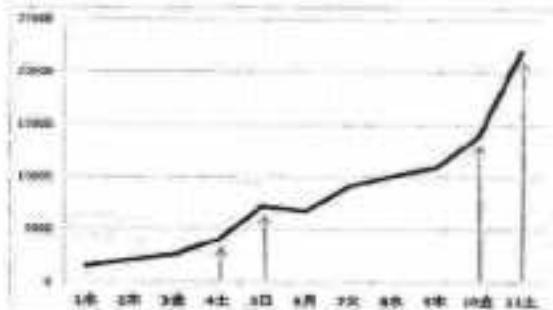
### ①回数(時期)

サンプル増を狙うには当然ながら、投票者が多い時期に行う必要がある。期日前投票者は、投票日に向かって右肩上がりに増える。衆参や知事選、札幌市長選の場合、北海道新聞では投票日前週の土・日曜日、その翌週の金・土曜日の4回実施している。(図表6)。

国政選挙など自党が公認候補へ投票できる期日前投票には、公明バイアスが存在し、しかもその出足が極めて早いという特性が判明している。そのため、調査は各週1回ずつ行わなければ公明票が正しく反映されない。

単独の首長選の場合は水・金・土の3回行うが、基本的に公明バイアスが存在しないので、土曜日だけで十分という見方もできる。

図表6 期日前投票者数の推移(09衆・相井様)



### ②時間帯

過去の調査結果から時間帯と支持政党との相関関係は見られないが、年代とは顕著な関係が存在する。

投票日と同様に午前中は60代以上の高年齢が多く、午後から夕方は50代以下の割合が増える。年代と投票行動には関連性が強く、1日を通して調査を行う必要がある。

### ③サンプル数

期日前投票者数は日を追うごとに増える。そのため、適切サンプル数は投票者数の実態に合わせるのが理想である。北海道新聞は日によって獲得上限を変更せずに、1日200サ

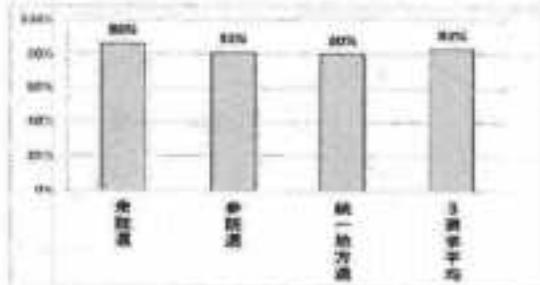
ンプルで男女同数確保を調査条件としている。しかし、最終日には調査員を1名増員し2名体制で行い、サンプル数を増やして実態に近くようとしている。

過度のノルマ設定は調査員のモチベーション低下と、有権者や選管とのトラブル、いわゆる「メディアスクラン」につながるので避けなければならない。ただ、一定のノルマやルールがなければ偏ったサンプルにならかねないので、さじ加減が難しい。200という数字は実験による経験値だが、過去3選挙のノルマ達成率は平均83%と、今のところは目標値として適当だと思われる(図表7)。

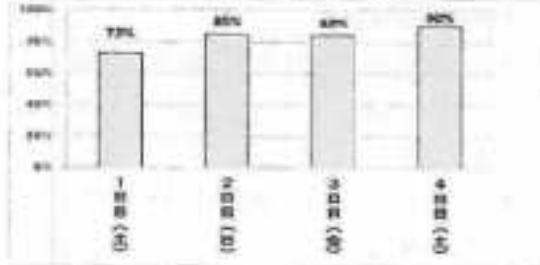
日別との関係をみると、3選挙平均の達成率は1日目が73%、2日目が85%、3日目が84%、4日目が90%と実際の投票者数と似た傾向を示す。日によって獲得上限を変えなくても、実態に近い結果を得られる(図表8)。

3日目の数値が下がら要因は、平日の金曜日だからである。投票所が市役所で調査場所が建物外の場合、一般来場者と投票者の見分けがつかず、サンプル減は免れない。

図表7 過去3選挙のノルマ達成率



図表8 日別とノルマ達成率(09衆)



## ⑤地点

予算上、制約を受けるのが地点数。そのため、回数（時期）と同様にサンプル数を確保しやすい地点選びが大切になる。北海道新聞では原則、1選挙区2地点で実施している。

有権者人口が多いほどサンプルが多く確保できる。3選挙のノルマ達成率と地点との関係をみると、人口7万人以上だと60%超えるが、3万人クラスだと50%を下回る（図表8）。

具体的な選定方法だが、選挙区の全有権者に対して期日前投票所内の有権者が占める割合、「有権者カバー率」が少なくとも2地点以上で5割以上になるようにするのが目安であろう。一般的に区だけ構成。もしくは人口が多い2～3の都市と町村が集結した選挙区だと、少ない地点でも高いカバー率が望める。厄介なのは人口規模が同じ複数の都市で構成された選挙区で、地点を極端に増やさない限りカバー率が低くなる。11市22町1村で構成される10区で例えると、カバー率を50%にするには7市が必要で現実的ではない。

なお、開票結果との差と、カバー率、獲得サンプル数には相関関係は見られないが、作為的に設計している以上、少ないサンプルでもよいとする考え方は早計である（図表9）。

選定の際、実際に調査をする場所「実査環境」も重要な判断材料になる。投票者が多くても、環境が悪ければサンプル確保は難しい。

投票所が市役所の場合、投票場所は会議室や1階に特設するケースが多い。調査が建物内でしかも投票場所近くで行えたら、平日の場合、投票者と一般来場者の区別がつきサンプル確保が容易になる。また、天候に左右される建物外での調査と違い、対象者、調査員双方に負担が少ないのも利点である。

建物外の場合、投票所の立地場所や駐車場の位置、建物の構造なども大きな影響を及ぼ

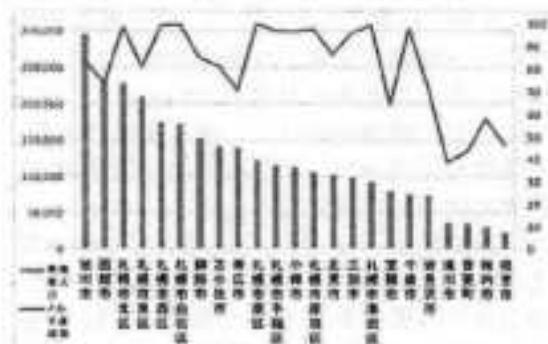
すので注意しなければならない。

## ⑥調査員対策

出口調査は対面式調査であり、調査員が果す役割は大きい。調査員のモチベーションが下がると、マイキングやリタイヤの要因となる。運営、有権者とのトラブルへ進展すれば業界全体の信頼失墜につながってしまう。

それを防ぐために、我々報道各社は調査員に対し適正な調査条件を設け、可能な限り良好な実査環境を提供し、しっかりとコミュニケーションを図ることが重要である。

図表8 有権者人口とノルマ達成率（09衆）



図表9 カバー率、サンプル数と平均誤差（09衆）

	被調査平均誤差	有権者カバー率	獲得サンプル数
全体	2.0	64.2%	21505
1区	0.4	84.5%	1902
10区	0.5	31.9%	1235
2区	0.7	100%	1803
3区	0.8	61.7%	3226
4区	1.1	66.8%	1296
5区	1.2	32.7%	1328
6区	1.3	53.9%	1450
7区	2.9	77.8%	1889
8区	3.1	31.9%	1347
11区	3.6	57.9%	1382
9区	3.8	57.9%	1451
12区	4.2	41.7%	1724

## 最後に

年内解散の見方が広がっている。選挙調査を行う報道各社は情勢調査をはじめ、期日前・投開票日の両出口調査を通して、総選挙の行方を追うことになる。

期日前出口調査は歴史が浅く発展途上段階である。本稿がより精度の高い調査確立への材料になれば幸いである。

# 選挙予測の課題

## —調査手法および運用と予測式の影響を探る—

松田 勝二

(世論調査メソドロジスト／埼玉大学社会調査研究センター)

### 1.はじめに

報道される内閣・政党支持率の大半は、RDD(Random Digit Dialing)調査により計測されている。2008年8月3、4日に報道された福田改造内閣支持率が各社で大きく異なった(朝日24、毎日25、読売41.3、日経38、共同31.5%)あたりから、固定電話を持たない「携帯限定層」を調査対象にしていないことへの批判が目立っている。

こうした経緯を受けて、埼玉大学社会調査研究センターは、第1回世論・選挙調査研究大会(2011.09.22)を開き、セッション「世論調査(RDD法)の危機をどう乗り越えるか」で「携帯限定層」の影響について報道各社の担当者(江口・福田・川崎・大栗、2012)の報告をもとに議論した。松田(2012)は「10% ≤ 携帯限定層 < 15%」と推定し、「携帯限定層」を対象にしていないことの影響は、報道各社の指摘同様にまだ軽微だが、トーキル・サーベイ・エラーを考えると要注意だと指摘している。

衆議院の解散・総選挙により実施される報道各社の選挙情勢調査(選挙予測)においては、「携帯限定層」を対象にしないRDD調査で予測は可能なのだろうか。その問題点と課題について報告する。

### 2.「携帯電話だけを使う」層の特性

携帯電話の普及が、選挙予測調査にどのような影響を及ぼすのか——埼玉大学社会調査研究センターが実施した「さいたま市民政治意識調査」<sup>10</sup>(郵送法で2012年5~6月に実施)を基に、課題を探ってみる。

全体平均と質問「Q32. 固定電話所持」で判明した固定電話保有層(RDD調査で捕捉可能な層)との意識差は最大2%で、前大会で川崎(2012)が指摘したものと類似の影響度

合いである。

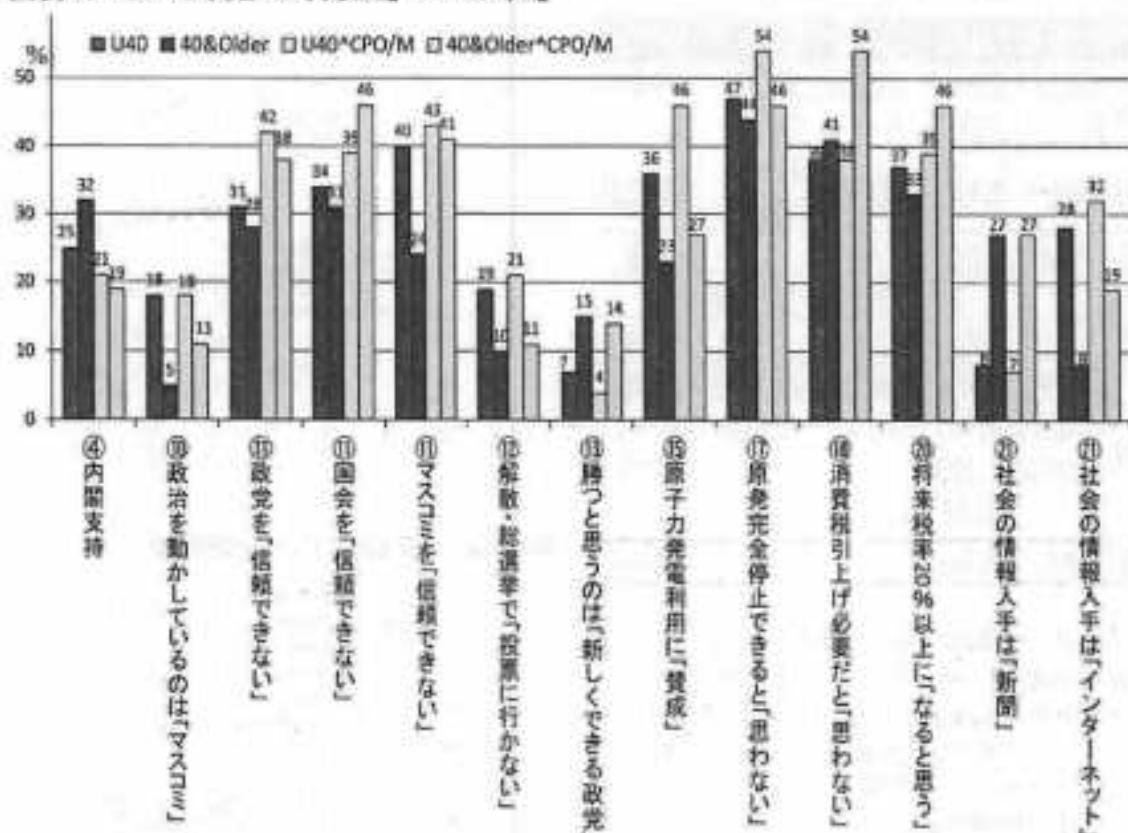
固定電話を所持していても全く使用していない家庭があり、これらも実質的にはRDD調査では捕捉できない。そこで、質問「Q34. 自宅での電話利用状況」のうち「携帯電話だけを使う」層(18%)をRDD調査では捕捉できない実質的な「携帯限定・携帯中心層」(CPO/M: Cell Phone Only/Mostly)と仮定し、それ以外はRDDで捕捉できる固定電話使用層と仮定して全体との意識差を確認したが、最大3%にとどまる。全体平均と固定電話使用層での差が3%のものは以下の6問。

- Q3. 政治関心度
- Q5. 県知事支持率
- Q11B. 「政党」信頼度
- Q11E. 「マスコミ」信頼度
- Q15. 原子力発電利用賛否
- Q21. 社会の情報源

固定電話保有層(89%: 固定電話なし層10%)と固定電話使用層(81%: 携帯電話だけ使用層18%)のいずれにおいても全体平均とは2~3%程度の意識差が見られる程度で、意見分布の比較においては支障がないようみえる。しかし、この「2~3%程度」の差異は、選挙の獲得議席予想においては大きな影響を及ぼす(詳細は5章)。

一方で、RDD調査では捕捉できない「携帯電話だけを使う」層がどのような意識傾向があるかは投票傾向にあるのか郵送調査で察知しておけば、RDD調査の結果が実際よりは比率が高いのか低いのかが判断でき、選挙情勢を探るうえで有用である。とくに「携帯電話だけを使う」若年層の動向が気にかかるため、全体と「携帯電話だけを使う」層(18%)を40歳未満(U40)と40歳以上(40 & Older)に分類して、分析した(図表1)。

図表1. 「20・30代と40代以上」×「CPO/M」



40歳未満の「携帯電話だけを使う」層は、40歳未満全体に比べて「内閣支持率はやや低めの21%」「政党を信頼できない」は大きく上回り42%」「解散・総選挙で投票に行かない」は同程度の21%」「総選挙で新党が勝つと思う」は4%と低く」「原子力発電利用に賛成」は46%と目立ち」「将来、原発を完全停止できると思わない」も過半数の54%を占め」「社会の情報入手はインターネット」が32%を占め」ている（詳細は添付した累計表を参照）。

次の総選挙では既成政党不信による投票行動の変化が注目される。RDD調査では回収が難しい40歳未満の「携帯電話だけを使う」層は、政党不信がかなり高いうえに、新党の勝利も調査時点では懷疑的で、しかも選挙戦の争点となる原子力発電利用については肯定的かつ現実的な見方をしている。マスコミに対しては、批判的あるいは懐疑的である。

### 3. 最近の気になる動向

2011年11月27日に投開票された大阪ダブル選挙<sup>④</sup>で圧勝した橋本、松井の両氏の情勢報道では、「接戦」や「一歩リード」という見出しがあったため（図表2）、三浦（2012）は、固定電話のみを対象とする RDD 調査の問題点を挙げ、「世論調査では読み切れなかつた圧勝劇」と指摘している。村上（2011）は、20代の投票率の上昇などにも触れ「日本の現代史で初めての世代間選挙」と指摘し、今後の選挙戦における若年層の動向に注目している。

2012年7月29日に投開票された山口県知事選挙<sup>⑤</sup>では、上関原発計画「凍結」の山本氏に対し、橋下大阪市長のブレーンを務めていたこともある飯田氏は「白紙撤回」を掲げて諦戦した。大島理森・自民党副総裁は、「いわゆる第三勢力的な、市民運動的なそういう大きな不満というものを、我々は直視しなければなりません」と述べている。

図表2. 大阪ダブル選挙（2011.11.27）

部長	毎日	毎日	日々	中日(休日運休)
西長選 長氏	地下鉄新、西平 平松正義行	地下鉄カード、 地下鉄、平松氏に先 平松氏が違う	地下鉄、一歩一歩 前進	地下鉄、平松氏は大 事
新規導入 北山氏	北山氏、吉田氏 北山氏の意見	本文で 書かれてる	知事も議論してある	
癡鷹田	11月19日	11月19日	11月19日	11月19日
調査方針	RDD	RDD、毎日放送NEWS	RDD(テレビ大阪)	RDD
調査日	11月19-20日	11月19-20日	11月19-20日	11月19-20日
自殺者名 氏(そのうち大阪府内 は61)	有難者名(佐藤 20名)、新規登録(30 件)、転回登録(130 件)、新規登録(30 件)、転回登録(60 件)	有難者名(佐藤 10名)、新規登録(30 件)、転回登録(115 件)、新規登録(34 件)、転回登録(81 件)、新規登録(147 件)、転回登録(11 件)	有難者名(佐藤 115件)、転回登録(10 件)	有難者名(佐藤 81件)、新規登録(147 件)、転回登録(11 件)
回答率	86.7%	76.7%(川崎)	75.1%	86.7%(川崎)

原発の「再稼働反対」のデモが続く中で、解散・総選挙に突入することを考慮すれば、このデモが世論形成に及ぼす影響も気になる。さいたま市民意識調査によれば、「携帯電話だけを使う」若年層はインターネットによる社会情報取得が目立つ。安易に「若年層=棄権層」とみなすのではなく、「アラブの春」に例示されるような、SNSを利用した集団的な投票行動も想定しておきたい。

日本人の抗議行動に対する意識変化は、統計数理研究所が5年ごとに実施している「日本人の国民性調査」が参考になる。質問文は以下(図8、9)。

### 図9 社会不満の表し方

仮りに、あなたが社会に対して不満があるとします。その場合、あなたはどのような態度をとりますか？

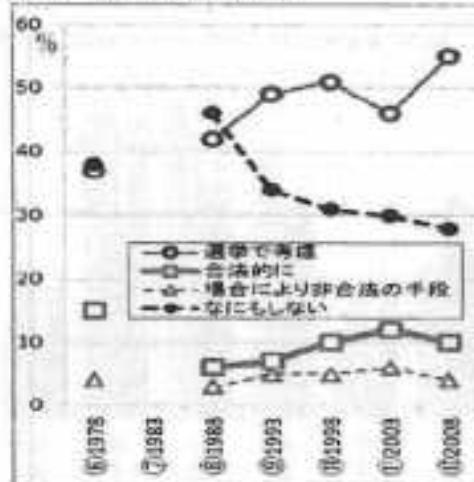
- 選挙で投票するときに、考慮する
  - 合法的な事情、署名あつめ、デモ、ストライキなどをする
  - 場合によっては、非法の手段をとることもありうる
  - たとえ不誠があっても、別にねこましない
  - その他【記入】

## 5. その他 配入

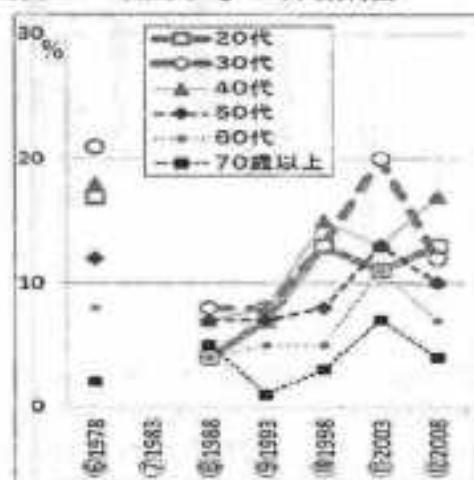
60K

不満解消のためにデモなどの合法的な抗議をするという人は、近年 10% 程度にとどまるが、1978 年には 15% と高い。60 年、70 年の安保闘争や当時のベトナム反戦運動の影響が考えられる。当時の 20、30、40 代では、合法的な抗議への支持が 20% 程度ある。

図表3. 社会不満の表し方



図表 3a. 「合法的に」の年代別特性



#### 4. 選挙予測のための基本的な注意事項

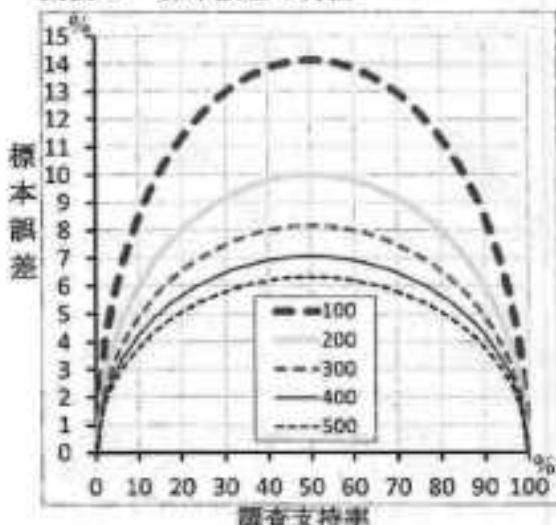
(4-1) 標本誤差は、比率=50%で最大になる。

選挙得票率は有権者総数ではなく有効投票数を分母にして計算される。同様に、本稿での調査支持率は、既定の質問により回答された候補者名の総数を分母にした各候補の「名挙げ」の割合とする。

調査支持率の標本誤差は、単純抽出ではないので実務的にルートの中を2倍した以下の(1)式で計算するのが妥当である。分析は「名挙げ」で行うため、図表4では名挙げ数(n)を100~500の5段階で描画した。

$$\text{標本誤差} = 2\sigma = 2\sqrt{\frac{2P(100-P)}{n}} \quad \cdots (1)$$

図表4. 標本誤差の特性

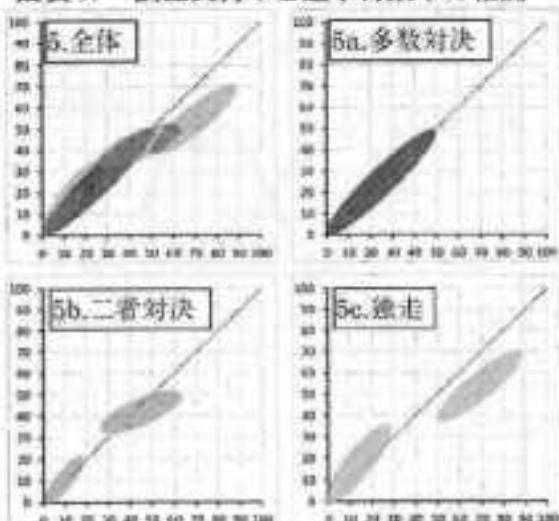


前回総選挙では、小選挙区の名挙げ数が200未満（名挙げ率を65%と想定）で標本誤差が10%を超えるものもある<sup>10)</sup>。RDD調査は50%回収を目指して設計されているため、遅れやすい船が過剰になるという運用の歪みを受けやすい。選挙区情勢のみで標本サイズを決めるのではなく、運用修正ができる程度の多めの標本設計をすべきである。

#### (4-2) 推計得票率には推計式の特性（データ構造）の影響を受けた構造誤差が生じる。

300小選挙区の全候補者の調査支持率(x)と選挙得票率(y)は、 $y = x$ の線からズレ分布する。各選挙区の対決構図によりズレ具合も変わること（図表5 = 5a + 5b + 5c）。

図表5. 調査支持率と選挙得票率の相関



様々な対決構図を内包した全小選挙区の調査支持率と選挙得票率の相関は、3次方程式に回帰できる（松田、2002、2004）。

$$f(X) = aX^3 + bX^2 + cX + d \cdots (2)$$

傾きの大きいところでは、調査支持率が少しずれるだけでも得票率は大きくぶれる。逆に傾きの小さいところでは、調査支持率が多少変わっても得票率に大きな変動はない。この構造誤差は推計式の1階微分

$$f'(X) = 3aX^2 + 2bX + c \cdots (3)$$

の関数と仮定できる。

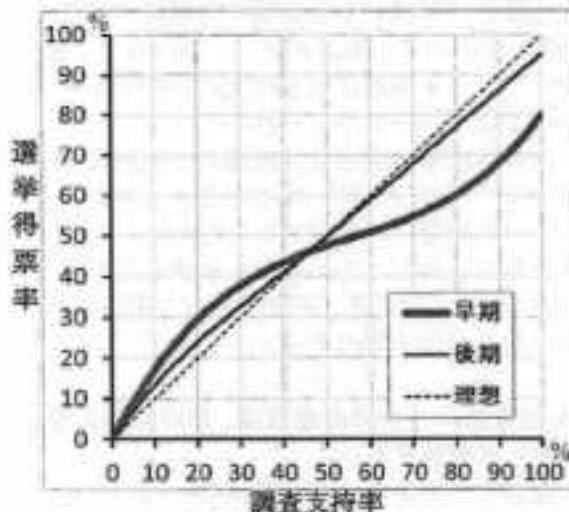
序盤調査時点では、候補者や政党を決めきれていない有権者も多く、調査支持率は「有名」「人気」「話題」のある候補（政党）が高めになる（得票率は調査支持率ほど高くならない）傾向がある。こうした「早期」調査と投票日間近に実施する「後期」調査のデータ構造の違いを強調して描いたのが図表6である。二者対決を想定し（2）式の係数に以下の値を代入した。

早期:  $a=0.00018$   $b=-0.03$   $c=1.00$   $d=0.00$

後期:  $a=0.00019$   $b=-0.02$   $c=1.52$   $d=0.00$

48%以上は  $a=0.00$   $b=0.00$   $c=0.91$   $d=1.21$  に置換

図表6. 調査時期によるデータ構造特性



(4-3) 推計誤差は標本誤差と構造誤差を総合して考える（林・高倉、1964）。

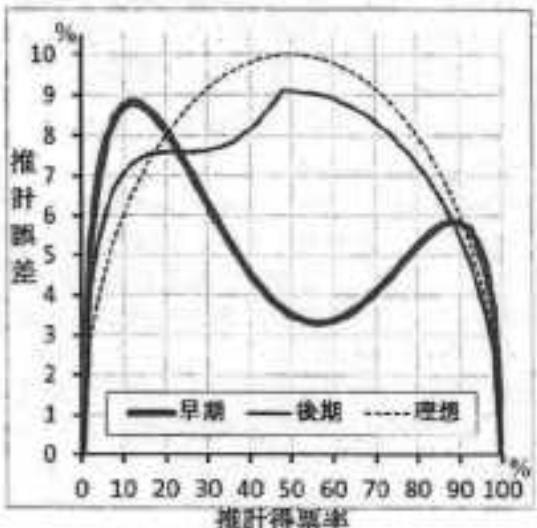
$$\text{推計誤差} = 2k f'(P) \sqrt{\frac{2P(100-P)}{n}} \cdots (4)$$

$k$ : 調査定数、 $f'(P)$ : 予測式の傾き  
 $P$ : 代入値（調査支持率など）、 $n$ : 名挙げ数

(4)式の調整定数を便宜的に  $k = 1.0$  と仮定する。「早期」の調査では、推計得票率が低いものほど構造誤差の効果が影響して推計誤差が大きくなり、接戦ラインでは最大にはならないことがわかる(図表7)。

(ただし、名擧げ数=200と想定して計算)

図表7 推計誤差の特性



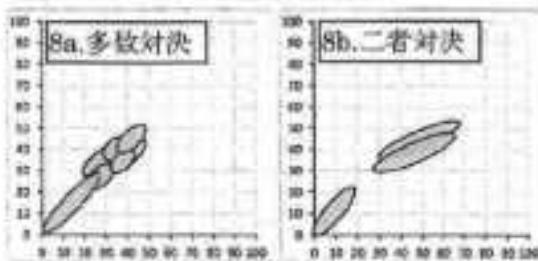
2009年総選挙や2010年参院選で公示日から実施された調査に上る誤差予想が大きく外れなかつたのは(例外あり)、公示日という選挙戦の「早期」でも投票する政党(の候補者)を決めている人が多く、「早期」と「後期」でデータ構造に大きな違いが無かつたからではないかと考えられる。

次の総選挙は選挙後の政権の枠組みが見通せないため、自民か民主かというわかりやすい政権選択の選挙にはならない。有権者が公示日あたりで「政党」を決められるのかどうか、「早期」調査のデータ構造がどうなるのかが予測のポイントとなる。

#### (4-4) 接戦ラインでの当落は、 $f(x)$ に補正を加味して岐別する。

過去データから「選挙得票率— $f(x)$ 」がプラス、マイナスになるものと相関が高い要因を探すことが重要である。とくに図表5bの二者対決においては、当選群と落選群が回帰式 $f(x)$ の上下に分離する傾向があり、要因は絞りやすい(図表8b)。一方で、図表5aの多数対決では当選と落選が入り乱れ、要因探しは難しい(図表8a)(松田, 2002)。

図表8 当選群・落選群の分布イメージ



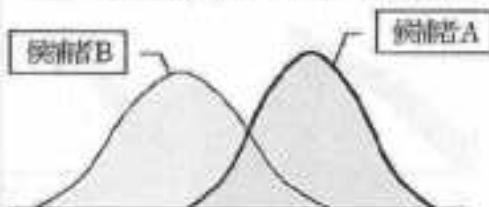
これまででは民主・自民の二者対決が多く、当選の岐別はしやすかったが、有力候補が多数対決する選挙区が増えれば、工夫が必要となる。調査支持率で描画すれば当選群と落選群が混在するならば、当選群と落選群がうまく分離するような新たな変数(○○支持率)を探せばよい。例えば、比例区では、調査支持率のままでは過去の選挙ごとにデータが偏在して全選挙で共通に使える回帰式を得られないが、選挙に「大いに関心がある」層での支持率を用いれば、安定した回帰式が得られる(松田, 2002)。

(4-5) 当選確率は、各推計得票率分布の重なり具合(両分布の差の分布)から算出できる。

候補者AとBの二者対決の場合の候補者Aの当選確率 $P_A$ は、求めた推計得票率から

$$P_A = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \int_{z_A - z_B}^{\infty} \exp(-t^2/2) dt \quad (5)$$

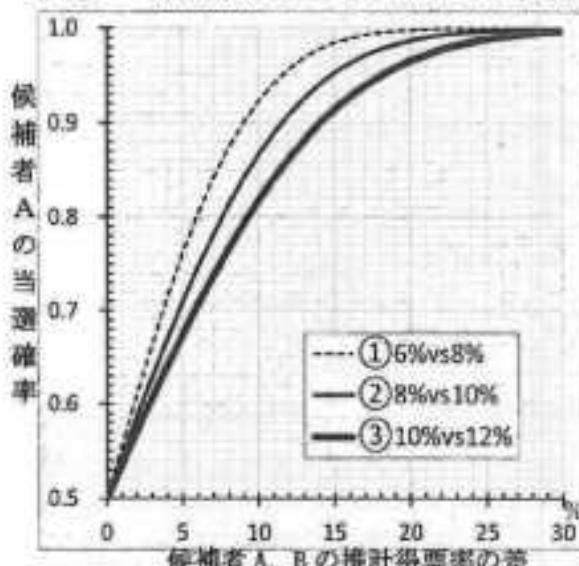
ただし、 $z_A$ : 候補者Aの推計得票率  
 $z_B$ : 候補者Bの推計得票率  
 $\sigma_{z_B}$  =  $\sigma_{z_A}$ <sup>2</sup> +  $\sigma_{z_B}$ <sup>2</sup> -  $2\rho_{AB}\sigma_{z_A}\sigma_{z_B}$   
( $\rho$  は各標準偏差、 $\rho$  は相關係数)



で計算できる。二者対決のため $\rho_{AB}=-1$ を代入。推計得票率の誤差幅(2 $\sigma$ )を①Aが6%、Bが8%、②Aが8%、Bが10%、③Aが10%、Bが12%の3つの場合ごとに $\sigma_{z_B}$ を求めて(5)式に代入し、Hastingsの近似式を用いて当選確率 $P_A$ を計算したものが図表9である。

候補者AとBの推計得票率の差( $z_A - z_B$ )が開けば候補者Aの当選確率( $P_A$ )が高くなるが、①②③の各推計誤差の大きさにより確率の変動具合が異なる。

図表9. 推計得票率の差と当選確率の関係



(4-6) 候補者の当落予想も党派別獲得議席予想も当選確率を用いる。

各選挙区での当落予想は、各候補者の当選確率の大きさをみて行う。一方で、全国の党派別獲得議席予想は、党派ごとに所属する候補者の当選確率( $p$ )を積算することで求められる(図表10)。

図表10. 確率積算の事例

	民主	自民	…	計
北海道1区	0.61	0.35	0.04	1.00
北海道2区	0.32	0.35	0.33	1.00
北海道3区	0.45	0.55	0.00	1.00
…	…	…	…	…
…	…	…	…	…
沖縄1区	0.23	0.35	0.42	1.00
沖縄2区	0.39	0.35	0.26	1.00
沖縄3区	0.73	0.27	0.00	1.00
沖縄4区	0.42	0.58	0.00	1.00
	89.21	148.56	62.23	300.00

各選挙区の情勢が「独立」だと仮定すると、党派別予想議席は、信頼度 95% で

$$\text{議席の誤差} = \pm 2 \sqrt{\sum p_i (1-p_i)} \quad \dots (6)$$

で計算できる。ちなみに全 300 小選挙区で民主と自民が互角の戦いなら、民主あるいは自民候補者の当選確率は  $p = 0.5$  だから、 $\sum p_i (1-p_i) = 300 \times 0.5 \times (1-0.5)$  となり、議席の誤差幅は 300 の平方根  $\approx 17$  となる。つまり、議席予想の誤差幅が適切かどうかを確認するには、接戦の(当落確定を除いた)選挙区数  $N$  を見積り、その平方根を計算すればよい。接戦が 200 選挙区なら誤差は 14、100 選挙区なら 10 となる。予想議席の誤差幅が大き過ぎては、億単位の費用をかけて調査する意味がない<sup>10)</sup>。

## 5. 携帯限定・中心層欠落が予測に及ぼす影響

前章の図表9の②を見ると、候補者 A と B の推計得票率の差が 5% のときには、A の当選確率は 0.71 となる。もし調査および推計に偏りがあり、推計得票率の差が 2% 増えて 7% 差となれば、A の当選確率は 0.78 となる。

個々の選挙区の当落判定に限れば、推計得票率の差が 2% 増えて当選確率が 0.07 増えることは大きな問題にはみえない。いずれにしても A 候補の当選を予想しているからである。

ところが、300 小選挙区の党派別議席予想では、わずかな偏りでも「座も積もれば山となる」ように、大きな影響を及ぼす。もし 100 選挙区で各自民党候補の当選確率が 0.07だけ多めになれば、積算 ( $100 \times 0.07$ ) により自民は 7 議席増えることになる。対立候補が民主だけなら、民主の議席は 7 議席減り、合計 14 議席も差が開くことになる。

2000 年総選挙で朝日新聞社は 300 小選挙区を 150 選挙区ずつ無作為に名簿(選挙人名簿から対象者を抽出後に電話帳で番号を調べる)方式と RDD 方式に分けて調査した。

図表11. 名簿方式と RDD 方式の比較実験

	郵便部		中間部		田舎部	
	選挙結果	推計議席	選挙結果	推計議席	選挙結果	推計議席
自民党	9	132	25	313	54	544
	10	111	23	256	56	563
民主党	13	67	20	111	10	78
	11	98	20	165	6	95

名簿方式は都市部で自民を強めに推計した（松田，2001，2003）。都市部では世帯用番号の電話帳掲載率が低いため、調査結果は電話帳掲載者の特性（自民支持者が多）の影響を受けた。自民候補の当選確率の増分（同時に民主党候補の当選確率の減分）が積み重なり、議席予想は外れた。

次の総選挙では、自民、民主に加えて多数の政党候補が争う選挙区が増えるだろう。そうなれば、上述したように自民の偏りは民主1党に反作用せずに各党に分散されるため、2000年ほどの影響は受けないかもしれない。ただ、上述の「推計得票率の差が2%増えて」というのは、推計得票率が実際よりはわずか1%偏っている（自民候補+1%、民主党候補-1%で計2%差）場合を想定している。「携帯電話層」に調査しない影響は「2~3%程度」というのは、総選挙の議席予想では大きな影響になることを再認識してほしい。

## 6. 観測者と観測装置の影響

選挙予測では「どこよりも早く正確に報道したい」という観測者の思惑がある。それは、調査日の前倒しに表れる。図表12は、過去6回の国政選挙の公示日から投票開票日までの間の調査・報道日程である。(1)~(4)は調査日、●は議席予想報道、○は各選挙区情勢報道、◎は●と○が同日報道を示す。

2004年参院選では、朝日・日経・東京（共同）が

図表12 各社の調査日と報道パターン

◆2010年参議院選挙（全社RDD、直近はRDD割合）

	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11
(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	
朝日	①	②	●	○										①	②		○	
読売	①	②	○											①	③	④	○	
日経	①	②	●	○										①	②	③	○	
毎日										①	②	③	○					
東京	①	②	③	○							①	②	③	●	○			
産経	①								①	②	③	○	●	○				

◆2009年参議院選挙（読売と日経が共同調査、全社RDD、直近はRDD割合）

	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	(木)	(金)	(土)	(日)
朝日	①	②	●	○	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪				
読売	①	②	③	○				①	②	③	○						
日経	①	②	③	●	○									翌日の前半は計 156区、読売の 後半は計209区			
毎日	①	②	③	○													
東京	①	②	③	●	○												
産経	①	②	③	④				●	○	○				のみ調査			

◆2007年参議院選挙（全社RDD、直近はRDD割合）

	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	
朝日					①	②	○							①	②		○	
読売	①	②	③	○				①	②	③	○			①	②	③	○	
日経	①	②	③	●	○													
毎日								①	②	③	●	○						
東京								①	②	③	●	○						
産経								①	②	③	●	○						

◆2005年参議院選挙（読売と東京はRDDに、日経は電話帳、直近はRDD割合）

	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	(木)	(金)	(土)	(日)	
朝日	①	②	③	④	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫					
読売	①	②	③	④	●	○												
日経	①	②	③	④	●	○								翌日の後半調査				
毎日	①	②	③	④	●	○								は計140区、10 0は複数型、40 は複数型				
東京	①	②	③	④	●	○												
産経	①	②	③	④				●	○					支拂設面				

◆2004年参議院選挙（日経はRDDと電話帳の併用、直近はRDD割合）

	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	
朝日							①	②	③	●	○							
読売								①	②	③	●	○						
日経								①	②	③	●	○						
毎日								①	②	③	●	○						
東京								①	②	③	●	○						
産経								①	②	③	●	○						

◆2003年参議院選挙（読売と東京は選舉入名簿、日経は電話帳、直近はRDD割合）

	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10
(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
朝日	①	②	③	④	●	○												
読売				①	②	●	○	○										
日経				①	②	●	○	○										
毎日				①	②	●	○	○	①	②	●	○						
東京				①	②	●	○	○	①	②	●	○						
産経				①	②	●	○	○	①	②	●	○						

7/4(日)に議席予想を報道し、翌5(月)に読売と毎日が報道している。読売はいつもの予想議席数を明示しないグラフの掲載をやめて予想数値を掲載し、毎日はいつもの予想議席表を掲載して数値を明示したが、誤差幅を極端に小さくした<sup>10</sup>。同じような情勢予想ならば、先に報道された内容が印象に残る。報道が遅れるならば、何か付加価値を付けなければという意識が表れた事例といえる。

2010年参院選で読売と日経は共同調査を実施したが、序盤調査の一面見出しへ「与党過半数は微妙」(読売)「民主『改選54』を上回る勢い」(日経)と相反した。選挙予測が外れたときには、「投票日までの間に民意が大きく変わった」とか「調査データの質が悪かった」と報告されることがある。この事例では、日経が外した理由はどちらにもあたらず、推計に問題があったといえる。

さらに、推計の成否は、質問構成という観測装置の精度も含めて検討すべきである。確かに候補者名を聞き取る質問の回答を分析して議席予想することは、筋立てとして正しいように思える。そのため、議席予想が外れると「投票日までの間に民意が大きく変わった」と報告される。この質問で有権者の思いを本当に把握できているのだろうか。Noelle-Neumann(1980)は、有権者の投票意向よりは当選予想がより敏感に選挙情勢を見通していることを示している。失敗の原因を「民意が変わった」ことにするのではなく、「民意をとらえきれていた」いう視点で、質問構成の工夫をして観測精度を上げるほうがよい。

## 7. 最後に

選挙予測の課題は多いが、これは「大変だ」と詰めるのではなく、「面白い」と前向きになっていただきたい。統計が苦手な方でも、簡単な予測はできる。例えば、各候補者の様々な層での支持率順位を調べて1位の数を求めてみる。各候補者の1位の数の割合を当選確率とみなすだけでも結構よい予測ができる。図表13はそのイメージである。選挙構図が変わり過去データがあて

にならないときほど、素直に調査データを読み込むことが重要である。こうした1位の数などで候補者の「強さ」を確認することも、推計の第一歩である。

図表 13. 1 位の累計で候補者の強さを推定

支 持 率	選挙結果										得票率				
	■ 自 由 全 体	2 太 い	2 行 か れ る	4 投 票 に 向 け て	4 被 選 出 す る	5 事 務 運 営	6 社 会 情 報	7 中 年	8 年 齢	9 性 別					
選挙A	101	3	3	4	4	3	4	4	3	4	3	0	0.00	4	86
選挙B	433	1	2	1	1	2	3	2	1	3	1	5	0.50	2	372
選挙C	382	2	1	2	2	1	1	1	2	1	2	5	0.50	1	414
候補D	B4	4	4	3	3	4	2	3	4	2	4	0	0.00	3	126

〈三〉

- (1) 埼玉大学周辺のさいたま市中央・桜・南区の選挙人名簿から無作為に有権者 1000 人を抽出し（ユニット法：3 区に含まれる全投票区の有権者に通し番号を付け、600 人のユニットを 100 組選び、各ユニット内から 60 人間隔で対象者を 10 人選んで）、郵送法で調査した。調査主体である埼玉大学社会調査研究センターの管理のもとで、社会調査法実習を受講する学生が運用した。費用削減のため予告状は送らず、2012 年 5 月 23 日（水）に謝礼のボールペン・120 円切手貼付済の返信用封筒・調査票の 3 点セットを投函。督促は 1 回のみで 6 月 6 日（水）にハガキを投函。6 月 21 日（木）までに返送された有効票は、計 646 票。

(2) 大阪市長選の結果は、橋下徹 58.96%（750,813 票）、平松邦夫 41.04%（522,641）。大阪府知事選の結果は、松井一郎 54.73%（2,006,195）、倉田兼 32.77%（1,201,034）、梅田章二 9.74%（357,159）、岸田修 0.80%（29,487）、高橋正明 0.76%（27,809）、中村勝 0.61%（22,347）、マック赤坂 0.59%（21,479）。

(3) 山口県知事選の結果は、山本繁太郎 47.57%（252,161 票）、飯田哲也 34.98%（185,654）、高邑勉 10.44%（55,418）、三輪茂之 7.00%（37,150）。

(4) 前回総選舉（2009 年 8 月 30 日投開票）での都道各社の得票有効数は、1 小蓮華区あたり朝日 400、読売・日経 350 と報道されており、全有効数から推定される平均有効数は、朝日（序盤 602.77 ÷ 150 ≈ 402）、中盤 1308.79 ÷ 300 ≈ 436）、読売・日経（序盤 1098.93 ÷ 300 ≈ 366、終盤 857.77 ÷ 200 ≈ 429）、毎日（778.68 ÷ 300 ≈ 260）、東京（1551.45 ÷ 300 ≈ 517）。

(5) 毎日新聞は2005年総選挙の議席予想で、自民の選挙区での獲得議席を179～216と報道している。中心値からのプラスマイナスの誤差は18.5になる。この選挙で自民は、300小選挙区すべてに立候補していない。

(6) 読売新聞(2004.7.5)掲載の「政党別予想獲得議席」は、自民(42-48-55=選挙区30～39+比例区12～16)、民主(44-53-58=選挙区26～35+比例区18～23)。毎日新聞(2004.7.5)掲載の「党派別推定当選者数」は、自民(42～49=選挙区29～33+比例区13～16)、民主(48～55=選挙区31～34+比例区17～21)。前日に掲載した朝日新聞(2004.7.4)の「獲得議席の推定」は、自民(41～47-53=選挙区29～37+比例区12～16)、民主(44～51-57=選挙区26～34+比例区18～23)だった。選挙結果は自民49(選挙区34+比例区15)、民主50(選挙区31+比例区19)。

#### <関連資料>

- 江口達也(2012)。RDD調査の現状と課題。政策と調査:世論・選挙調査研究大会記念号, pp. 54-57
- 福田昌史(2012)。携帯電話にどう対応するか。政策と調査:世論・選挙調査研究大会記念号, pp. 58-61
- 林知己夫・高倉節子(1964)。予測に関する実証的研究—選挙予測の方法論—。統計数理研究所叢書, 12(1), pp. 9-86
- 川崎英輝(2012)。面接・郵送調査による携帯限定層の影響度。政策と調査:世論・選挙調査研究大会記念号, pp. 62-65
- 松田映二(2001)。良質な調査結果を得るために(RDD法を採用した経緯)。新情報, 85, pp. 18-24
- 松田映二(2002)。『社会調査ハンドブック』(林知己夫編)。範倉書店, 「13.5 選挙調査」 pp. 661-675
- 松田映二(2003)。調査手法転換時の対応と判断—2000年総選挙と2001年参院選挙の事例—。OR(オペレーションズ・リサーチ), 48(1), pp. 4-10
- 松田映二(2004)。選挙予測の現状と課題—朝日新聞社の事例—。市場調査, 261, pp. 4-18
- 松田映二(2012)。RDD調査の今後について。政策と調査:世論・選挙調査研究大会記念号, pp. 3-33
- 三浦博史(2012)。「政界激戦の選挙予測」。文藝春秋(3月号), pp. 136-153
- 村上憲郎(2011)。「わたしの表面批評」。朝日新聞(2011.12.13朝刊)
- Noelle-Neumann, Elisabeth(1980). *Die Schweigespirale: öffentliche Meinung und soziale Realität*. R. Piper & Co. KG: München [『沈黙の螺旋理論: 世論形成過程の心理学』。池田謙一・安野智子訳。ブレーン出版(1997.03/改訂版)]
- 大栗正彦(2012)。携帯電話と世論調査信頼度からみた RDD調査への影響。政策と調査:世論・選挙調査研究大会記念号, pp. 66-73

#### <訂正>

大会当日配布した抄録集に誤りがありましたので、以下のように訂正しました。

訂正①…(5)式のインテグラル「」が下方にずれていたのを正しい位置に戻しました。

訂正②…図表12の「2009年総選挙」の朝日の欄にある「8/20(木)の◎」を「8/20(木)●」、「8/21(金)○」に直しました。なお、8/21(金)紙面は150選挙区の情勢記事ではなく、優劣をマークで表現した一覧表が掲載されています。

訂正③…く注>の(1)の適用日程に誤りがありました。9行目の「5月6日」を「5月23日」に、12行目の「5月30日」を「6月6日」にそれぞれ直しました。

訂正④…く注>の(6)の最終行で選挙区と比例区を合わせた民主の獲得議席数が抜けていました。「50」を追加しました。

★さらに、図表のうちグラフについては、座標軸の単位や説明を追加しました。

Q1. あなたは、今の日本の政治のあり方に、どの程度満足していますか。														
性別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人・ 年齢層	回答 率
男	女	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人・ 年齢層	回答 率
20-30代	-	3	13	24	59	1	-	-	-	-	-	0	100	64
40歳以上	-	3	14	24	57	2	-	-	-	-	-	-	26	169
総	-	3	12	24	60	1	-	-	-	-	-	0	73	47
選 択 利 用	A. 固定電話あり	-	3	12	25	59	1	-	-	-	-	0	89	578
	B. 固定電話なし	-	1	13	19	63	3	-	-	-	-	-	10	47
	C. 固定電話使用	-	3	12	25	59	1	-	-	-	-	0	81	52
	D. 通話料金使用	-	1	12	22	63	2	-	-	-	-	-	18	112
	-E. 固定電話	-	-	12	27	61	-	-	-	-	-	-	8	49
	-F. 移動電話	-	2	12	18	65	3	-	-	-	-	-	10	66
	2	3	15	26	55	1	-	-	-	-	-	-	19	67
0-1 0-2 0-3 0-4	A. 固定電話あり	-	2	13	21	60	4	-	-	-	-	-	7	47
3	B. 固定電話なし	-	4	14	25	56	1	-	-	-	-	-	14	94
0-5 0-6 0-7 0-8 0-9 0-10 0-11 0-12 0-13 0-14 0-15 0-16 0-17 0-18 0-19 0-20 0-21 0-22 0-23 0-24 0-25 0-26 0-27 0-28 0-29 0-30 0-31 0-32 0-33 0-34 0-35 0-36 0-37 0-38 0-39 0-40 0-41 0-42 0-43 0-44 0-45 0-46 0-47 0-48 0-49 0-50 0-51 0-52 0-53 0-54 0-55 0-56 0-57 0-58 0-59 0-60 0-61 0-62 0-63 0-64 0-65 0-66 0-67 0-68 0-69 0-70 0-71 0-72 0-73 0-74 0-75 0-76 0-77 0-78 0-79 0-80 0-81 0-82 0-83 0-84 0-85 0-86 0-87 0-88 0-89 0-90 0-91 0-92 0-93 0-94 0-95 0-96 0-97 0-98 0-99 0-100	B. 固定電話なし	-	1	14	24	58	3	-	-	-	-	-	12	78
1	C. 固定電話使用	-	1	17	28	56	-	-	-	-	-	-	4	29
2	D. 通話料金使用	-	2	13	21	60	4	-	-	-	-	-	7	47
3	E. 固定電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	29
4	F. 移動電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19
5	6	7	8	9	10	11	-	-	-	-	-	-	3	19

Q2. あなたは誰かと政治的取引を結婚にしたり、結婚にしたりすることができますか。次の半からお答えください。														
性別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人・ 年齢層	回答 率
男	女	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人・ 年齢層	回答 率
20-30代	2	14	47	25	9	2	-	-	-	-	-	-	26	169
40歳以上	4	30	41	13	10	1	-	-	-	-	-	-	73	47
総	-	4	27	42	15	10	1	-	-	-	-	-	89	578
選 択 利 用	A. 固定電話あり	-	19	48	24	9	-	-	-	-	-	-	10	47
	B. 固定電話なし	-	27	42	15	10	1	-	-	-	-	-	81	52
	C. 固定電話使用	-	21	45	20	12	1	-	-	-	-	-	18	112
	D. 通話料金使用	-	22	41	18	16	2	-	-	-	-	-	8	49
	-E. 固定電話	-	20	49	22	9	-	-	-	-	-	-	10	66
	-F. 移動電話	-	13	45	26	10	2	-	-	-	-	-	19	111
	2	17	53	21	9	-	-	-	-	-	-	-	7	47
0-1 0-2 0-3 0-4	A. 固定電話あり	-	14	46	27	6	3	-	-	-	-	-	14	94
3	B. 固定電話なし	-	14	49	22	13	1	-	-	-	-	-	12	78
0-5 0-6 0-7 0-8 0-9 0-10 0-11 0-12 0-13 0-14 0-15 0-16 0-17 0-18 0-19 0-20 0-21 0-22 0-23 0-24 0-25 0-26 0-27 0-28 0-29 0-30 0-31 0-32 0-33 0-34 0-35 0-36 0-37 0-38 0-39 0-40 0-41 0-42 0-43 0-44 0-45 0-46 0-47 0-48 0-49 0-50 0-51 0-52 0-53 0-54 0-55 0-56 0-57 0-58 0-59 0-60 0-61 0-62 0-63 0-64 0-65 0-66 0-67 0-68 0-69 0-70 0-71 0-72 0-73 0-74 0-75 0-76 0-77 0-78 0-79 0-80 0-81 0-82 0-83 0-84 0-85 0-86 0-87 0-88 0-89 0-90 0-91 0-92 0-93 0-94 0-95 0-96 0-97 0-98 0-99 0-100	C. 固定電話使用	-	10	41	24	21	3	-	-	-	-	-	4	29
1	D. 通話料金使用	-	17	53	21	9	-	-	-	-	-	-	7	47
2	A. 固定電話あり	-	31	41	12	10	1	-	-	-	-	-	70	480
3	B. 固定電話なし	-	25	35	30	10	-	-	-	-	-	-	3	20
4	C. 固定電話使用	-	30	42	12	10	1	-	-	-	-	-	66	420
5	D. 通話料金使用	-	35	41	14	11	-	-	-	-	-	-	8	47
6	E. 固定電話	-	42	42	5	11	-	-	-	-	-	-	3	19
7	F. 移動電話	-	28	39	22	11	-	-	-	-	-	-	3	19

Q3. あなたは国や地方の政治にどの程度関心を持っていますか。														
性別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人・ 年齢層	回答 率
男	女	16	64	17	2	1	-	-	-	-	-	-	0	100
20-30代	9	54	31	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	26
40歳以上	19	67	12	1	1	-	-	-	-	-	-	-	73	47
総	-	17	65	15	2	1	-	-	-	-	-	-	89	578
選 択 利 用	A. 固定電話あり	-	12	55	30	3	-	-	-	-	-	-	10	47
	B. 固定電話なし	-	17	66	14	1	1	-	-	-	-	-	81	52
	C. 固定電話使用	-	12	54	27	5	1	-	-	-	-	-	18	112
	D. 通話料金使用	-	12	53	24	6	2	-	-	-	-	-	8	49
	-E. 固定電話	-	12	55	29	3	-	-	-	-	-	-	10	66
	-F. 移動電話	-	7	57	28	7	1	-	-	-	-	-	19	111
	2	13	47	36	4	-	-	-	-	-	-	-	7	47
0-1 0-2 0-3 0-4	A. 固定電話あり	-	9	60	27	4	-	-	-	-	-	-	14	94
3	B. 固定電話なし	-	9	46	36	6	1	-	-	-	-	-	12	78
4	C. 固定電話使用	-	9	45	34	14	3	-	-	-	-	-	4	29
5	D. 通話料金使用	-	13	47	36	4	-	-	-	-	-	-	7	47
6	A. 固定電話あり	-	19	67	12	1	1	-	-	-	-	-	70	480
7	B. 固定電話なし	-	10	75	15	-	-	-	-	-	-	-	3	20
8	C. 固定電話使用	-	19	67	12	1	1	-	-	-	-	-	66	420
9	D. 通話料金使用	-	19	70	11	-	-	-	-	-	-	-	6	37
10	E. 固定電話	-	26	63	11	-	-	-	-	-	-	-	13	19
11	F. 移動電話	-	11	78	11	-	-	-	-	-	-	-	3	19

性別 年齢		Q4. あなたは、野田内閣を支持しますか。										
		1 女性 20代	2 女性 30代	3 女性 40代以上	4 男性 20代	5 男性 30代	6 男性 40代以上	7 その他 20代	8 その他 30代	9 その他 40代以上	10 その他 50代以上	11 その他 60代以上
全 体		1	29	41	24	5					C 100	646
世 代	20~30代	1	24	40	24	12				-	26	169
	40歳以上	1	31	41	24	3				D 73	47	
性 別	A. 女性専用あり	1	29	41	23	5				O 89	878	
	B. 女性専用なし	-	24	42	27	7				-	10	97
年 齢	C. 女性専用使用	2	31	42	22	4				O 81	821	
	D. 男女に分け使用	-	21	38	31	11			-	G 18	114	
用 途	-E. 固定保有	-	16	35	35	14			-	S 8	49	
	-F. 通路設定	-	25	40	28	8			-	T 10	55	
機 器	A. 固定電話あり	1	23	42	21	12			-	-	19	121
	B. 固定電話なし	-	28	34	30	11			-	-	7	47
器	C. 固定電話機用	1	26	45	19	9			-	-	14	94
用	D. 通話に分け使用	-	21	33	30	16			-	-	12	74
月	-E. 固定保有	-	14	31	31	24			-	-	4	29
	-F. 通路設定	-	26	34	30	11			-	-	7	47
機	A. 固定電話あり	2	31	41	24	3			O 70	450	450	
	B. 固定電話なし	-	20	60	20	-			-	-	20	428
器	C. 固定電話機用	2	32	41	23	3			O 68	68	68	
用	D. 通話に分け使用	-	19	49	32	-			-	-	6	41
機	-E. 固定保有	-	18	42	42	-			-	-	10	19
器	-F. 通路設定	-	22	56	22	-			-	-	3	18

性別 年齢		Q5. あなたは、上田清司・堀玉賛成事を支持しますか。										
		1 女性 20代	2 女性 30代	3 女性 40代以上	4 男性 20代	5 男性 30代	6 男性 40代以上	7 その他 20代	8 その他 30代	9 その他 40代以上	10 その他 50代以上	11 その他 60代以上
全 体		6	57	16	4	16					1 100	646
世 代	20~30代	5	49	12	3	31				-	26	169
	40歳以上	6	80	17	5	11				1 73	47	
性 別	A. 固定電話あり	6	58	16	4	14				1 89	878	
	B. 固定電話なし	3	45	13	6	35				-	10	97
年 齢	C. 固定電話機用	6	50	16	4	13				1 81	821	
	D. 通話に分け使用	4	45	12	7	32			-	-	18	114
用 途	-E. 固定保有	6	47	10	5	29			-	-	8	49
	-F. 通路設定	3	43	14	5	34			-	-	10	48
機 器	A. 固定電話あり	5	52	12	2	29			-	-	19	121
	B. 固定電話なし	4	40	13	4	29			-	-	7	47
器	C. 固定電話機用	4	58	13	-	26			-	-	14	94
用	D. 通話に分け使用	5	38	11	7	38			-	-	12	74
機	-E. 固定保有	7	34	7	10	41			-	-	4	29
器	-F. 通路設定	4	40	13	4	35			-	-	7	47
機	A. 固定電話あり	6	60	17	5	10			1 70	450	450	
	B. 固定電話なし	-	55	15	10	20			-	-	5	428
器	C. 固定電話機用	6	50	17	5	11			1 68	68	68	
用	D. 通話に分け使用	3	57	16	8	16			-	-	6	41
機	-E. 固定保有	5	53	16	5	11			-	-	3	19
器	-F. 通路設定	-	50	17	11	22			-	-	3	19

性別 年齢		Q6. あなたは、清水恵人・さいたま市長を支持しますか。										
		1 女性 20代	2 女性 30代	3 女性 40代以上	4 男性 20代	5 男性 30代	6 男性 40代以上	7 その他 20代	8 その他 30代	9 その他 40代以上	10 その他 50代以上	11 その他 60代以上
全 体		4	52	18	5	20					1 100	646
世 代	20~30代	4	49	11	4	33				-	26	169
	40歳以上	4	54	20	5	16				1 73	47	
性 別	A. 固定電話あり	4	53	18	5	19				1 89	878	
	B. 固定電話なし	2	45	12	7	23			-	-	10	97
年 齢	C. 固定電話機用	4	54	19	4	10				1 81	821	
	D. 通話に分け使用	3	44	12	9	32			-	-	18	114
用 途	-E. 固定保有	2	45	12	10	31			-	-	8	49
	-F. 通路設定	3	43	12	8	34			-	-	10	48
機 器	A. 固定電話あり	3	52	11	2	31			-	-	19	121
	B. 固定電話なし	4	40	9	9	36			-	-	7	47
器	C. 固定電話機用	4	56	11	1	28			-	-	14	93
用	D. 通話に分け使用	2	50	11	8	36			-	-	12	76
機	-E. 固定保有	-	58	14	7	41			-	-	4	29
器	-F. 通路設定	4	40	9	9	36			-	-	7	47
機	A. 固定電話あり	4	54	20	5	16			1 70	450	450	
	B. 固定電話なし	-	55	20	5	20			-	-	5	428
器	C. 固定電話機用	4	54	20	5	16			1 68	68	68	
用	D. 通話に分け使用	3	51	16	11	19			-	-	6	41
機	-E. 固定保有	5	53	11	16	16			-	-	3	19
器	-F. 通路設定	-	50	22	6	22			-	-	3	19

性別 100%調査はしていない ない、「-」とあ るのと並んでない		Q7. あなたは、普段日常の生活と対応とはどの程度関係しているとお答えですか。											
		1 非常に 感じてい る	2 どちらか といえ どもさう 感じ	3 どちらか といえ どもさう 感じ	4 どちらか といえ どもさう 感じ	5 どちらか といえ どもさう 感じ	6 どちらか といえ どもさう 感じ	7 どちらか といえ どもさう 感じ	8 どちらか といえ どもさう 感じ	9 どちらか といえ どもさう 感じ	10 どちらか といえ どもさう 感じ	11 どちらか といえ どもさう 感じ	計 者 数 N
全 体	33	48	15	2	3							1	100
世 代	20~30代	31	47	14	2	5						1	26
	40歳以上	34	46	15	2	2						1	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	33	46	15	2	3						1	89
	B. 固定電話なし	30	48	13	3	4						1	10
	C. 固定電話使用	34	47	14	2	2						1	81
	D. 通話だけ使用	30	44	18	3	4						1	18
	-E. 固定保有	31	39	24	2	4						-	8
	-F. 電話機器	29	48	14	3	5						2	10
													60
20~30代	A. 固定電話あり	31	48	15	2	4						-	19
	B. 固定電話なし	34	43	13	3	6						2	7
	C. 固定電話使用	35	49	11	2	3						-	14
	D. 通話だけ使用	26	45	18	3	7						1	12
	-E. 固定保有	14	48	26	3	7						-	4
	-F. 電話機器	34	43	13	2	6						2	7
													47
40歳以上	A. 固定電話あり	34	46	15	2	2						1	70
	B. 固定電話なし	20	60	15	5	-						-	3
	C. 固定電話使用	33	46	15	2	2						1	65
	D. 通話だけ使用	38	41	19	3	-						-	6
	-E. 固定保有	58	21	21	-	-						-	3
	-F. 電話機器	17	61	17	5	-						-	3

性別 100%調査はしていない ない、「-」とあ るのと並んでない		Q8. あなたには、支障している経験がありますか。											計 者 数 N
		1 あ る	2 な く	3 あ る	4 な く	5 あ る	6 な く	7 あ る	8 な く	9 あ る	10 な く	11 あ る	計 者 数 N
全 体	24	64	5									2	100
世 代	20~30代	13	74	12								1	26
	40歳以上	28	61	5								2	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	25	63	5								2	60
	B. 固定電話なし	18	72	7								3	10
	C. 固定電話使用	26	63	9								2	81
	D. 通話だけ使用	18	72	7								3	14
	-E. 固定保有	20	71	5								2	8
	-F. 電話機器	17	72	5								3	10
													66
20~30代	A. 固定電話あり	11	76	12								1	19
	B. 固定電話なし	19	65	11								2	7
	C. 固定電話使用	14	72	14								-	14
	D. 通話だけ使用	12	78	5								3	12
	-E. 固定保有	-	90	7								3	4
	-F. 電話機器	19	63	11								2	7
													47
40歳以上	A. 固定電話あり	29	60	9								2	70
	B. 固定電話なし	15	80	-								5	3
	C. 固定電話使用	28	61	8								2	66
	D. 通話だけ使用	30	65	8								3	6
	-E. 固定保有	47	47	5								-	3
	-F. 電話機器	11	82	-								6	3

性別 100%調査はしていない ない、「-」とあ るのと並んでない		Q9. あなたは、民衆的に主張する政治家は「まがい」といいますか。											計 者 数 N
		1 ま が い	2 ま が い	3 ま が い	4 ま が い	5 ま が い	6 ま が い	7 ま が い	8 ま が い	9 ま が い	10 ま が い	11 ま が い	計 者 数 N
全 体	2	16	25	41	13							2	100
世 代	20~30代	1	14	27	40	17						1	26
	40歳以上	3	17	25	42	12						2	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	2	17	25	41	14						1	89
	B. 固定電話なし	1	15	25	43	12						2	10
	C. 固定電話使用	2	16	26	40	12						2	81
	D. 通話だけ使用	1	11	23	46	18						2	18
	-E. 固定保有	-	4	20	49	27						-	8
	-F. 電話機器	2	15	25	43	12						3	10
													45
20~30代	A. 固定電話あり	1	16	26	40	17						-	10
	B. 固定電話なし	2	11	28	40	17						2	7
	C. 固定電話使用	1	20	27	41	11						-	14
	D. 通話だけ使用	1	7	26	39	26						1	12
	-E. 固定保有	-	-	24	39	38						-	4
	-F. 電話機器	2	11	28	40	17						2	7
													47
40歳以上	A. 固定電話あり	3	17	25	41	12						2	70
	B. 固定電話なし	-	25	20	50	-						3	9
	C. 固定電話使用	3	18	25	40	12						2	66
	D. 通話だけ使用	-	15	15	50	5						3	8
	-E. 固定保有	-	5	15	68	11						-	3
	-F. 電話機器	-	26	17	50	-						6	3

以下は%。  
100%満足にしていない、「-」とあらわるのは不満が大きい。

Q10. 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。次のなか一つだけ選んでください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総合 得点 率		
世 代	政治家	政治 家	84%											
20~30代	15	33	1	4	8	18	4	15	1	26	100	100		
40歳以上	14	47	3	6	4	5	4	14	4	73	47%	47%		
通 話 利 用	A. 固定電話あり	14	43	2	6	5	8	4	14	2	89	87%		
	B. 固定電話なし	12	40	-	1	6	16	4	18	1	10	67%	67%	
	C. GTF電話使用	14	45	2	6	5	7	4	14	3	81	82%	82%	
	D. 電子メール使用	13	37	1	3	6	16	6	18	1	18	114%	114%	
	-E. 国際電話	14	33	2	6	6	14	8	16	-	8	49%	49%	
	-F. 携帯電話	12	40	-	-	6	17	5	18	2	10	68%	68%	
20 代	A. 固定電話あり	16	31	1	6	10	17	6	12	1	16	121%	121%	
	B. 固定電話なし	15	34	-	-	4	19	-	26	2	7	47%	47%	
	C. GTF電話使用	17	37	-	5	10	17	3	10	1	14	93%	93%	
30 代	D. 電子メール使用	13	28	1	3	7	18	6	24	1	12	76%	76%	
	-E. 国際電話	10	17	3	7	10	17	14	21	-	4	29%	29%	
	-F. 携帯電話	15	34	-	-	4	19	-	26	2	7	47%	47%	
40 歳 以 上	A. 固定電話あり	14	47	3	6	4	5	4	14	4	70	460%	460%	
	B. 固定電話なし	5	15	-	5	10	10	15	-	-	3	20%	20%	
	C. GTF電話使用	14	45	3	6	4	5	4	15	4	88	426%	426%	
	D. 電子メール使用	14	54	-	3	5	11	9	5	-	6	37%	37%	
	-E. 国際電話	21	53	-	5	-	11	-	11	-	-	3	18%	18%
	-F. 携帯電話	6	16	-	-	11	11	17	-	-	-	3	18%	18%

	Q11A. あなたは、実行中にある相談や組織、団体について、どの程度満足していますか。「満足程度」についてはどうですか。											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総合 得点 率
世 代	政治家	政治 家	84%									
20~30代	8	38	35	11	7					1	26	105%
40歳以上	6	41	33	13	6					1	73	47%
通 話 利 用	A. 固定電話あり	7	41	33	11	7				1	89	87%
	B. 固定電話なし	3	37	39	18	1				1	10	67%
	C. GTF電話使用	7	41	32	12	7				1	81	82%
	D. 電子メール使用	5	36	37	14	6				2	18	114%
	-E. 国際電話	8	33	36	10	12				2	5	49%
	-F. 携帯電話	3	38	38	17	2				2	10	68%
20 代	A. 固定電話あり	10	29	33	9	0				-	19	121%
	B. 固定電話なし	4	38	38	15	2				2	7	67%
	C. GTF電話使用	12	41	33	8	6				-	14	93%
30 代	D. 電子メール使用	4	36	37	14	8				1	12	76%
	-E. 国際電話	3	31	34	14	17				-	4	29%
	-F. 携帯電話	4	38	38	15	2				2	7	47%
40 歳 以 上	A. 固定電話あり	6	41	33	12	7				1	70	460%
	B. 固定電話なし	-	35	40	23	-				-	3	20%
	C. GTF電話使用	6	42	32	12	7				1	66	426%
	D. 電子メール使用	8	36	36	14	3				-	6	37%
	-E. 国際電話	16	37	31	5	5				-	3	18%
	-F. 携帯電話	-	30	30	22	-				-	3	18%

	Q11B. 「我先」についてはどうですか。											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総合 得点 率
世 代	政治家	政治 家	84%									
20~30代	-	13	43	31	13					1	26	105%
40歳以上	-	14	50	28	6					1	73	47%
通 話 利 用	A. 固定電話あり	1	14	49	27	8				1	89	87%
	B. 固定電話なし	-	10	37	45	6				1	10	67%
	C. GTF電話使用	1	14	50	26	7				1	81	82%
	D. 電子メール使用	1	11	37	40	10				2	18	114%
	-E. 国際電話	2	10	35	37	14				2	5	49%
	-F. 携帯電話	-	11	38	43	8				2	10	68%
20 代	A. 固定電話あり	-	13	46	26	15				-	19	121%
	B. 固定電話なし	-	13	32	45	9				2	7	67%
	C. GTF電話使用	-	15	52	22	12				-	14	93%
30 代	D. 電子メール使用	-	11	32	42	14				1	12	76%
	-E. 国際電話	-	7	31	38	24				-	4	29%
	-F. 携帯電話	-	13	32	45	9				2	7	47%
40 歳 以 上	A. 固定電話あり	1	14	50	28	8				2	70	460%
	B. 固定電話なし	-	5	50	45	-				-	3	20%
	C. GTF電話使用	1	14	50	27	8				2	66	426%
	D. 電子メール使用	3	11	49	38	-				-	6	37%
	-E. 国際電話	5	16	42	37	-				-	3	18%
	-F. 携帯電話	-	6	56	38	-				-	3	18%



数字は%。 100%調査はしていない。 「-」とあるのは実施がない。		Q12. もし、いま衆議院が解散され選舉があったとしたら、比例代表選挙でどの政党に投票しますか。												
		1 比例 代表	2 自由 民主党	3 立憲 民主党	4 新進 党	5 民進 党	6 みんな の党	7 元自民 党	8 公明 党	9 新進 党	10 民進 党	11 其他 政党	投票 率	
世 代	全 体	16	24	2	5	1	9	8	13	12	9	100	646	
20-30代	15	26	2	3	-	10	8	9	12	8	26	109		
40歳以上	17	24	2	5	1	9	9	15	10	8	73	471		
通 話 利 用	A. 固定電話あり	16	24	2	5	1	9	9	14	12	8	99	575	
	B. 固定電話なし	16	25	3	4	-	10	7	10	13	9	10	61	
	C. 携帯電話使用	17	25	2	5	1	10	8	14	11	8	81	521	
	D. 携帯だけ使用	16	22	3	4	-	8	11	12	18	8	18	114	
	-E. 固定保有	12	20	2	4	-	4	14	14	22	5	8	44	
	-F. 携帯固定	17	23	3	5	-	11	8	11	14	9	10	58	
	20 代	A. 固定電話あり	14	26	1	3	-	11	8	9	21	7	19	121
30 代	B. 固定電話なし	19	26	4	2	-	9	6	11	13	11	7	47	47
	C. 携帯電話使用	14	31	1	4	-	13	5	8	17	6	14	93	93
	D. 携帯だけ使用	17	20	3	1	-	7	11	12	21	9	12	34	34
	-E. 固定保有	14	10	-	-	-	3	17	14	34	7	4	29	29
	-F. 携帯固定	19	26	4	2	-	9	6	11	13	11	7	47	47
	40 歳 以 上	A. 固定電話あり	17	24	2	6	1	9	9	15	10	8	70	450
	B. 固定電話なし	10	25	-	10	-	15	10	10	12	5	3	20	20
40 歳 以 上	C. 携帯電話使用	18	24	2	5	1	9	8	15	10	8	66	428	
	D. 携帯だけ使用	11	24	3	11	-	11	11	14	11	5	6	19	19
	-E. 固定保有	11	32	5	11	-	5	11	16	5	5	3	19	19
	-F. 携帯固定	11	17	-	11	-	17	11	11	17	6	3	18	18

数字は%。 100%調査はしていない。 「-」とあるのは実施がない。		Q13. それで仮にいま衆議院が解散され選舉があったとしたら、どの政党が勝つと思いますか。												
		1 比例 代表	2 自由 民主党	3 立憲 民主党	4 新進 党	5 民進 党	6 みんな の党	7 元自民 党	8 公明 党	9 新進 党	10 民進 党	11 其他 政党	投票 率	
世 代	全 体	16	47	1	1	0	2	3	13	11	6	100	646	
20-30代	17	33	1	-	-	2	3	7	14	4	26	109		
40歳以上	18	46	1	1	0	2	3	15	11	6	73	471		
通 話 利 用	A. 固定電話あり	15	47	1	1	0	2	3	14	11	6	99	575	
	B. 固定電話なし	21	57	1	-	-	3	1	3	9	4	10	67	
	C. 携帯電話使用	18	47	0	1	0	2	3	14	11	6	81	521	
	D. 携帯だけ使用	18	53	1	-	-	4	4	7	11	4	18	114	
	-E. 固定保有	14	49	-	-	-	4	6	12	12	2	8	48	
	-F. 携帯固定	22	35	2	-	-	3	2	3	9	5	10	68	
	20 代	A. 固定電話あり	16	52	-	-	-	2	4	9	13	3	19	121
30 代	B. 固定電話なし	19	55	2	-	-	2	-	2	13	5	7	47	47
	C. 携帯電話使用	15	55	-	-	-	1	2	10	13	4	14	90	90
	D. 携帯だけ使用	19	50	1	-	-	4	4	4	14	4	12	74	74
	-E. 固定保有	17	41	-	-	-	7	10	1	17	-	4	28	28
	-F. 携帯固定	19	55	2	-	-	2	-	2	13	6	7	47	47
	40 歳 以 上	A. 固定電話あり	16	45	1	1	0	2	3	15	11	7	70	450
	B. 固定電話なし	25	50	-	-	-	5	5	5	-	-	3	20	20
40 歳 以 上	C. 携帯電話使用	16	45	0	1	0	2	3	15	11	7	66	428	
	D. 携帯だけ使用	19	59	-	-	-	3	3	14	3	-	6	37	37
	-E. 固定保有	11	63	-	-	-	-	-	21	5	-	3	18	18
	-F. 携帯固定	29	56	-	-	-	6	6	6	-	-	3	18	18

数字は%。 100%調査はしていない。 「-」とあるのは実施がない。		Q14A. 国民と選挙や政治の関わり合いに関する次のことがありますについて、あなたの気持ちを回答してください。 （自分で決める）													
		1 うらやま しい	2 うれし い	3 どちら でもない	4 うれし くない	5 どちら でもない	6 どちら でもない	7 どちら でもない	8 どちら でもない	9 どちら でもない	10 どちら でもない	11 どちら でもない	投票 率		
世 代	全 体	7	10	14	63	4							1	100	
20-30代	11	11	14	60	4								1	26	
40歳以上	6	9	14	65	4								2	73	
通 話 利 用	A. 固定電話あり	6	10	14	64	4							1	89	
	B. 固定電話なし	12	10	10	60	5							1	10	
	C. 携帯電話使用	5	10	15	64	3							2	61	
	D. 携帯だけ使用	11	8	11	62	7							1	18	
	-E. 固定保有	10	4	12	65	3							-	8	
	-F. 携帯固定	11	11	11	60	6							2	10	
	20 代	A. 固定電話あり	12	11	15	60	2						-	19	21
30 代	B. 固定電話なし	6	13	9	62	9							2	7	47
	C. 携帯電話使用	12	12	15	60	1							-	14	58
	D. 携帯だけ使用	9	11	12	61	7							1	12	36
	-E. 固定保有	14	7	17	63	3							-	4	29
	-F. 携帯固定	6	13	9	62	9							2	7	47
	40 歳 以 上	A. 固定電話あり	5	9	14	65	4						2	70	420
	B. 固定電話なし	25	5	15	55	-							-	3	30
40 歳 以 上	C. 携帯電話使用	5	10	15	65	4							2	66	428
	D. 携帯だけ使用	14	3	11	65	8							-	6	37
	-E. 固定保有	5	-	5	74	16							-	3	18
	-F. 携帯固定	22	6	17	56	-							-	3	18

Q14B、「当座では大抵の人が投票するのだから、自分が一人くらい投票しなくてもかまわない」													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	計者 回答 率
性別	女性	3	7	14	72	2						1	100
年齢	20~30代	8	11	20	58	2						1	26
性別	40歳以上	1	6	13	77	1						1	79
電話利用	A. 固定電話あり	3	6	14	74	2						1	89
	B. 固定電話なし	9	13	18	57	1						1	10
	C. 固定電話使用	2	7	13	74	2						1	81
	D. 携帯だけ使用	7	10	19	51	1						2	18
	-E. 固定保有	4	4	20	69	-						2	8
	-F. 携帯保有	9	14	18	55	2						2	10
性別	A. 固定電話あり	7	10	22	59	2						-	19
年齢	B. 固定電話なし	11	13	15	57	2						2	7
性別	C. 固定電話使用	3	13	19	58	2						-	14
年齢	D. 携帯だけ使用	9	9	21	58	1						1	12
性別	-E. 固定保有	7	3	31	59	-						-	4
年齢	-F. 携帯保有	11	13	15	57	2						2	7
性別	A. 固定電話あり	1	6	12	78	2						2	70
年齢	B. 固定電話なし	5	15	20	55	-						-	3
性別	C. 固定電話使用	1	6	12	78	2						2	66
年齢	D. 携帯だけ使用	3	11	16	70	-						-	6
性別	-E. 固定保有	-	5	5	89	-						-	2
年齢	-F. 携帯保有	6	17	28	50	-						-	3

Q14C、「自分には政治のすることに対して、それを左右する力はない」													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	計者 回答 率
性別	女性	27	31	13	22	5						2	100
年齢	20~30代	27	40	10	18	5						1	26
性別	40歳以上	27	28	14	24	5						2	73
電話利用	A. 固定電話あり	26	30	13	24	5						2	89
	B. 固定電話なし	31	42	9	12	4						1	10
	C. 固定電話使用	26	30	13	24	5						2	81
	D. 携帯だけ使用	32	26	11	14	6						2	18
	-E. 固定保有	35	27	12	16	8						2	8
	-F. 携帯保有	29	43	9	12	5						2	10
性別	A. 固定電話あり	27	37	12	18	5						-	19
年齢	B. 固定電話なし	28	45	4	17	4						2	7
性別	C. 固定電話使用	24	39	12	22	4						-	14
年齢	D. 携帯だけ使用	32	41	8	13	5						1	12
性別	-E. 固定保有	38	34	14	7	7						-	4
年齢	-F. 携帯保有	28	45	4	17	4						2	7
性別	A. 固定電話あり	26	28	14	25	5						2	70
年齢	B. 固定電話なし	40	35	20	-	5						-	3
性別	C. 固定電話使用	26	23	14	25	5						2	66
年齢	D. 携帯だけ使用	32	27	16	16	8						-	6
性別	-E. 固定保有	22	18	11	32	11						-	3
年齢	-F. 携帯保有	33	39	22	-	6						-	3

Q14D、「自分のように政治のことがよくわからぬ者は投票しない方がいい」													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	計者 回答 率
性別	女性	3	6	12	74	3						2	100
年齢	20~30代	8	11	16	59	7						1	26
性別	40歳以上	1	4	11	80	2						2	73
電話利用	A. 固定電話あり	3	5	12	75	3						2	89
	B. 固定電話なし	4	12	7	69	6						1	10
	C. 固定電話使用	2	5	13	75	3						2	81
	D. 携帯だけ使用	6	10	8	70	4						2	18
	-E. 固定保有	8	6	8	73	2						2	8
	-F. 携帯保有	5	12	8	68	6						2	10
性別	A. 固定電話あり	10	10	18	56	6						-	19
年齢	B. 固定電話なし	4	13	9	64	9						2	7
性別	C. 固定電話使用	9	10	23	53	6						-	14
年齢	D. 携帯だけ使用	8	12	8	64	7						1	12
性別	-E. 固定保有	14	10	7	66	3						-	4
年齢	-F. 携帯保有	4	13	9	64	9						2	7
性別	A. 固定電話あり	1	4	11	80	2						2	70
年齢	B. 固定電話なし	5	10	5	80	-						-	3
性別	C. 固定電話使用	1	4	11	80	2						2	66
年齢	D. 携帯だけ使用	3	5	8	84	-						-	6
性別	-E. 固定保有	-	-	11	89	-						-	3
年齢	-F. 携帯保有	6	11	6	78	-						-	3

被子はなし。 100%調査はしていない。「-」とあらわるのは実験がない。	Q15. 認は変わりますが、あなたは、原子力発電を利用することに、賛成ですか、反対ですか。										
1 固有 時間	2 年間	3 10/75 年	4	5	6	7	8	9	10	11 調査入 数/回答 率	参考 回答 率
全 体	23	43	29							2 100	646
世 代	20~30代	35	33	29						2 26	109
	40歳以上	23	47	29						1 73	471
利 用	A. 固定電話あり	25	45	28						2 89	375
	B. 固定電話なし	39	28	31						1 10	87
	C. 固定電話使用	23	46	28						2 81	321
	D. 携帯電話使用	38	31	24						1 18	114
	-E. 固定電話	39	35	27						- 8	49
	-F. 携帯電話	40	28	31						2 10	85
	A. 固定電話あり	34	37	26						2 19	121
利 用	B. 固定電話なし	43	21	34						2 7	47
	C. 固定電話使用	28	41	28						3 14	83
	D. 携帯電話使用	46	22	30						1 12	76
	-E. 固定電話	52	24	24						- 4	29
	-F. 携帯電話	43	21	34						2 7	47
	A. 固定電話あり	23	47	29						2 20	450
	B. 固定電話なし	30	45	25						- 3	36
利 用	C. 固定電話使用	23	47	28						2 66	426
	D. 携帯電話使用	27	46	27						- 6	37
	-E. 固定電話	21	47	32						- 3	19
	-F. 携帯電話	33	44	22						- 3	18
	A. 固定電話あり	23	48	20	2	6				2 100	646
	B. 固定電話なし	14	48	21	3	7				2 26	109
	C. 固定電話使用	27	48	17	2	5				1 73	471
利 用	A. 固定電話あり	24	49	19	2	6				2 89	375
	B. 固定電話なし	16	48	26	3	5				1 10	87
	C. 固定電話使用	24	49	19	1	5				2 81	321
	D. 携帯電話使用	10	42	25	6	7				1 18	114
	-E. 固定電話	24	35	22	10	6				- 8	49
	-F. 携帯電話	15	48	26	3	6				2 10	85
	A. 固定電話あり	16	47	27	2	6				2 19	121
利 用	B. 固定電話なし	11	51	23	4	9				2 7	47
	C. 固定電話使用	17	48	28	-	4				2 14	83
	D. 携帯電話使用	11	47	25	7	9				1 12	76
	-E. 固定電話	10	41	28	10	10				- 4	29
	-F. 携帯電話	11	51	23	4	9				2 7	47
	A. 固定電話あり	26	48	16	2	6				2 70	400
	B. 固定電話なし	30	40	30	-	-				- 3	20
利 用	C. 固定電話使用	20	50	16	1	5				2 66	426
	D. 携帯電話使用	38	30	24	5	3				- 6	37
	-E. 固定電話	47	21	16	11	5				- 3	19
	-F. 携帯電話	28	39	33	-	-				- 3	18
	A. 固定電話あり	35	45	18						2 100	646
	B. 固定電話なし	33	47	19						2 26	109
	C. 固定電話使用	36	44	18						2 73	471
利 用	A. 固定電話あり	35	45	18						2 89	375
	B. 固定電話なし	34	45	19						1 10	87
	C. 固定電話使用	36	44	19						2 81	321
	D. 携帯電話使用	33	52	14						1 18	114
	-E. 固定電話	31	51	8						- 8	49
	-F. 携帯電話	35	45	18						2 10	85
	A. 固定電話あり	33	46	19						2 19	121
利 用	B. 固定電話なし	30	49	19						2 7	47
	C. 固定電話使用	37	41	20						2 14	83
	D. 携帯電話使用	28	54	17						1 12	76
	-E. 固定電話	24	50	12						- 4	29
	-F. 携帯電話	30	49	19						2 7	47
	A. 固定電話あり	38	45	18						2 70	400
	B. 固定電話なし	45	35	20						- 3	20
利 用	C. 固定電話使用	36	44	18						2 66	426
	D. 携帯電話使用	46	46	8						- 6	37
	-E. 固定電話	42	38	-						- 3	19
	-F. 携帯電話	50	33	17						- 3	18

Q18. 財政再建や、社会保障制度を維持するために、消費税率の引き上げが必要だとおもいますか。そうは思いませんか。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人 数	回答 率
以下に記載するようにしていません。 100%調整はしていない、「一」とあるのは実施がしない		13	27	10	1	3							2	100
世帯	全 体	48	40	11									648	
代	20~30代	49	38	11									2	25
	40歳以上	47	41	10									2	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	48	39	11									2	89
	B. 固定電話なし	43	48	7									1	10
	C. 固定電話使用	48	39	11									2	81
	D. 携帯だけ使用	50	43	6									1	18
	-E. 固定保有	57	39	4									-	8
	-F. 廉価電話	45	46	8									2	10
2	A. 固定電話あり	50	36	12									2	19
0	B. 固定電話なし	49	40	9									2	7
1	C. 固定電話使用	46	38	14									2	14
3	D. 携帯だけ使用	53	38	8									1	12
0	-E. 固定保有	59	34	7									-	4
代	-F. 廉価電話	49	40	9									2	7
4	A. 固定電話あり	48	40	11									2	70
0	B. 固定電話なし	30	55	5									-	3
1	C. 固定電話使用	48	39	11									2	66
3	D. 携帯だけ使用	43	54	3									-	6
0	-E. 固定保有	53	47	-									-	3
代	-F. 廉価電話	33	61	6									-	3

Q19. 次の選択肢で投票する候補者や政党を選ぶとき、その候補や候補者の消費税に対する意見をどの程度重視しますか。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人 数	回答 率
以下に記載するようにしていません。 100%調整はしていない、「一」とあるのは実施がしない		内に記 載する	648											
世帯	全 体	33	52	10	1	3							2	100
代	20~30代	30	55	11	-	2							2	25
	40歳以上	34	51	10	1	3							1	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	33	51	10	1	3							2	89
	B. 固定電話なし	33	58	6	-	1							1	10
	C. 固定電話使用	32	52	11	1	3							2	81
	D. 携帯だけ使用	35	54	8	1	1							1	18
	-E. 固定保有	41	47	10	2	-							-	8
	-F. 廉価電話	31	60	6	-	2							2	10
2	A. 固定電話あり	30	54	12	-	2							2	19
0	B. 固定電話なし	30	57	9	-	2							2	7
1	C. 固定電話使用	31	53	11	-	3							2	14
3	D. 携帯だけ使用	28	58	12	-	1							1	12
0	-E. 固定保有	24	59	17	-	-							-	4
代	-F. 廉価電話	30	57	8	-	2							2	7
4	A. 固定電話あり	34	51	10	1	3							2	70
0	B. 固定電話なし	40	60	-	-	-							-	3
1	C. 固定電話使用	32	52	11	1	3							2	66
3	D. 携帯だけ使用	51	46	-	3	-							-	6
0	-E. 固定保有	68	26	-	5	-							-	3
代	-F. 廉価電話	33	67	-	-	-							-	3

Q20. あなたは、日本の消費税の現制度、将来、20%以上になるとおもいますが、そうは思いませんか。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	回答人 数	回答 率
以下に記載するようにしていません。 100%調整はしていない、「一」とあるのは実施がしない		内に記 載する	648											
世帯	全 体	34	39	26									2	100
代	20~30代	37	34	28									2	25
	40歳以上	33	41	24									2	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	33	39	26									2	89
	B. 固定電話なし	43	39	16									1	10
	C. 固定電話使用	32	39	27									2	81
	D. 携帯だけ使用	42	39	18									1	18
	-E. 固定保有	41	39	20									-	8
	-F. 廉価電話	43	38	17									2	10
2	A. 固定電話あり	36	31	32									2	19
0	B. 固定電話なし	40	43	15									2	7
1	C. 固定電話使用	34	31	32									2	14
3	D. 携帯だけ使用	39	37	22									1	12
0	-E. 固定保有	38	28	34									-	4
代	-F. 廉価電話	40	43	15									2	7
4	A. 固定電話あり	32	42	25									2	70
0	B. 固定電話なし	50	30	20									-	3
1	C. 固定電話使用	31	40	26									2	66
3	D. 携帯だけ使用	46	43	11									-	6
0	-E. 固定保有	42	58	-									-	3
代	-F. 廉価電話	50	28	22									-	3

就学年 100%調査はしてい ない、「-」とあ るものは実数がない		Q21. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。もっとも多くの情報を使 っているものを一つだけ選んでください。											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計 100 人 中
	全 体	53	4	22	14	1	1						100
性 別	20~30代	51	4	8	28	1	1						100
	40歳以上	56	4	27	8	1	0						100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	53	4	23	12	1	1						100
	B. 固定電話なし	54	3	10	27	-	-						100
	C. 固定電話使用	54	4	24	11	0	1						100
	D. 固定だけ使用	48	4	13	28	2	-						100
	-E. 固定保有	41	4	16	29	4	-						100
	-F. 固定解約	54	3	11	28	-	-						100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	50	5	6	27	2	2						100
	B. 固定電話なし	53	2	9	30	-	-						100
	C. 固定電話使用	51	5	10	26	-	2						100
	D. 固定だけ使用	51	3	7	32	3	-						100
	-E. 固定保有	48	3	3	34	7	-						100
	-F. 固定解約	53	2	9	30	-	-						100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	53	4	27	8	1	0						100
	B. 固定電話なし	55	5	15	20	-	-						100
	C. 固定電話使用	55	4	27	8	0	0						100
	D. 固定だけ使用	43	5	27	19	-	-						100
	-E. 固定保有	32	5	37	18	-	-						100
	-F. 固定解約	56	6	17	22	-	-						100

就学年 100%調査はしてい ない、「-」とあ るものは実数がない		Q22. あなたの出稼地はどこですか。											計 100 人 中
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計 100 人 中
	全 体	38	25	3	11	7	3	4	2	1	5	2	100
性 別	20~30代	54	18	2	7	5	1	5	2	-	4	2	100
	40歳以上	33	27	3	12	9	3	3	2	1	5	1	100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	39	25	3	10	8	2	3	2	1	3	2	100
	B. 固定電話なし	33	28	3	12	4	5	7	-	-	4	1	100
	C. 固定電話使用	38	26	3	10	8	2	3	2	1	5	2	100
	D. 固定だけ使用	43	20	3	11	4	4	6	3	-	5	1	100
	-E. 固定保有	57	10	2	10	2	2	4	8	-	0	6	100
	-F. 固定解約	32	28	3	12	5	6	8	-	-	5	2	100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	64	14	2	5	4	-	2	2	-	0	2	100
	B. 固定電話なし	30	30	2	13	8	4	11	-	-	3	2	100
	C. 固定電話使用	65	17	1	5	5	-	1	-	-	3	2	100
	D. 固定だけ使用	42	20	3	9	4	3	9	4	-	3	1	100
	-E. 固定保有	62	3	3	3	-	-	7	10	-	10	-	100
	-F. 固定解約	30	30	2	13	8	4	11	-	-	2	2	100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	32	27	3	12	9	3	4	2	1	5	2	100
	B. 固定電話なし	40	26	5	10	-	10	-	-	-	10	-	100
	C. 固定電話使用	32	28	3	11	9	3	4	2	1	5	2	100
	D. 固定だけ使用	46	19	3	16	3	8	-	-	-	5	-	100
	-E. 固定保有	53	16	-	21	5	5	-	-	-	-	-	100
	-F. 固定解約	39	22	6	11	-	11	-	-	-	11	-	100

就学年 100%調査はしてい ない、「-」とあ るものは実数がない		Q23. あなたにとって、古いことは陋み、老の程度、ほかやすいでですか。次の中からお答えください											計 100 人 中
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計 100 人 中
	全 体	14	86	13	2	3							100
性 別	20~30代	20	66	8	2	3							100
	40歳以上	12	57	14	2	3							100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	14	57	13	2	2							100
	B. 固定電話なし	15	53	13	3	4							100
	C. 固定電話使用	13	57	13	1	2							100
	D. 固定だけ使用	19	52	10	4	4							100
	-E. 固定保有	27	61	4	0	2							100
	-F. 固定解約	14	53	14	3	5							100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	21	54	7	1	3							100
	B. 固定電話なし	15	50	9	4	2							100
	C. 固定電話使用	19	56	5	1	3							100
	D. 固定だけ使用	20	56	8	3	3							100
	-E. 固定保有	28	52	7	-	3							100
	-F. 固定解約	15	58	9	4	2							100
利 用 形 態	A. 固定電話あり	12	57	14	2	2							100
	B. 固定電話なし	15	50	29	-	10							100
	C. 固定電話使用	11	57	15	1	2							100
	D. 固定だけ使用	16	57	14	8	5							100
	-E. 固定保有	21	53	-	16	-							100
	-F. 固定解約	11	50	26	-	11							100

## Q23A. どうしてそう思いますか。あなたの近況持ちに一番多いものを一つだけ選んでください。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		回答例	参考 回答										
性別	全 体	12	3	4	1	4	5	4	1	40	1	26	100
世 代	20-30代	12	5	4	4	1	7	2	-	46	-	20	26
	40歳以上	12	3	4	1	5	4	5	1	38	1	26	73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	13	4	3	1	4	5	5	1	40	1	24	89
	B. 固定電話なし	5	1	7	4	4	3	1	-	40	-	23	10
	C. 固定電話使用	12	4	3	1	4	5	5	1	40	1	24	81
	D. 携帯だけ使用	11	2	5	4	4	6	1	-	43	-	25	18
	-E. 固定保有	16	2	2	2	2	10	-	-	45	-	20	8
	-F. 携帯購入	5	2	8	5	5	3	2	-	42	-	28	10
2	A. 固定電話あり	13	7	2	3	1	7	2	-	46	-	18	19
D	B. 固定電話なし	9	2	9	4	2	4	-	-	45	-	26	7
I	C. 固定電話使用	12	8	2	3	-	8	3	-	48	-	17	14
S	D. 携帯だけ使用	12	3	5	4	3	7	-	-	43	-	24	12
O	-E. 固定保有	17	3	-	3	3	10	-	-	41	-	21	4
代	-F. 携帯購入	9	2	9	4	2	4	-	-	45	-	26	7
4	A. 固定電話あり	12	3	4	0	4	4	5	1	38	1	26	70
D	B. 固定電話なし	10	-	5	6	10	-	5	-	30	-	35	3
0	C. 固定電話使用	12	3	4	0	5	4	8	1	38	1	26	66
度	D. 携帯だけ使用	8	-	5	3	5	3	3	-	43	-	30	6
以 上	-E. 固定保有	16	-	5	-	-	5	-	-	53	-	21	3
	-F. 携帯購入	-	-	6	8	11	-	6	-	33	-	39	3

## Q24. あなたは男性ですか、女性ですか。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		回答例	参考 回答										
性別	全 体	46	53										1 100
世 代	20-30代	46	54										- 25
	40歳以上	46	53										D 73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	45	55										1 89
	B. 固定電話なし	55	45										- 10
	C. 固定電話使用	44	55										0 81
	D. 携帯だけ使用	56	43										1 18
	-E. 固定保有	56	43										2 8
	-F. 携帯購入	57	43										- 10
2	A. 固定電話あり	45	55										- 19
D	B. 固定電話なし	49	51										- 7
I	C. 固定電話使用	41	58										- 14
S	D. 携帯だけ使用	53	47										- 12
O	-E. 固定保有	58	41										- 4
代	-F. 携帯購入	49	51										- 7
4	A. 固定電話あり	45	54										0 70
D	B. 固定電話なし	70	30										- 3
0	C. 固定電話使用	45	54										0 66
成	D. 携帯だけ使用	65	35										- 6
以 上	-E. 固定保有	53	47										- 3
	-F. 携帯購入	78	22										- 3

## Q25A. あなたのお年月日でおいくつですか。年齢をお書きください。(10位以内)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		回答例	参考 回答										
性別	全 体	9	17	22	15	18	18						1 100
世 代	20-30代	34	68	-	-	-	-						- 26
	40歳以上	-	-	30	21	25	24						- 73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	7	14	23	17	19	19						1 89
	B. 固定電話なし	30	40	12	5	7	4						- 10
	C. 固定電話使用	5	13	24	17	21	20						0 81
	D. 携帯だけ使用	29	39	15	8	6	4						1 18
	-E. 固定保有	27	33	18	10	4	6						2 8
	-F. 携帯購入	31	42	12	6	8	2						- 10
2	A. 固定電話あり	31	69	-	-	-	-						- 19
D	B. 固定電話なし	43	57	-	-	-	-						- 7
I	C. 固定電話使用	27	73	-	-	-	-						- 14
S	D. 携帯だけ使用	43	57	-	-	-	-						- 12
O	-E. 固定保有	45	55	-	-	-	-						- 4
代	-F. 携帯購入	43	57	-	-	-	-						- 7
4	A. 固定電話あり	-	-	29	21	25	25						- 70
D	B. 固定電話なし	-	-	40	20	25	15						- 3
I	C. 固定電話使用	-	-	29	21	25	23						- 68
S	D. 携帯だけ使用	-	-	46	24	19	11						- 6
O	-E. 固定保有	-	-	47	26	11	16						- 3
代	-F. 携帯購入	-	-	44	22	28	6						- 3

性別は?% 100%調査はしていない。 「-」とあらわるのは実数がない。		Q26. あなたが就後に住んだ(または現在住んでいる)学校を選んでください。										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答人 数/合計 数
全 体	10	29	24	32	4	0					1	100
世 代	20~30代	1	15	32	44	7	1				1	26
	40歳以上	13	34	21	28	3	0				0	73
通話相 用	A. 固定電話あり	10	20	24	23	3	0				0	89
	B. 固定電話なし	9	24	28	27	10	1				1	97
	C. 固定電話使用	9	31	23	33	3	0				0	91
	D. 既報通り無	9	21	31	31	8	-				1	18
	-E. 固定保有	10	16	33	35	4	-				2	8
	-F. 携帯電話	8	25	29	28	11	-				-	10
2	A. 固定電話あり	-	16	31	48	3	1				1	19
0	B. 固定電話なし	4	13	34	34	15	-				-	7
1	C. 固定電話使用	-	18	30	48	2	1				-	14
3	D. 既報通り無	3	12	34	38	12	-				1	12
0	-E. 固定保有	-	10	34	45	7	-				2	4
代	-F. 携帯電話	4	13	34	34	15	-				-	7
4	A. 固定電話あり	12	34	21	29	3	0				0	70
0	B. 固定電話なし	20	50	15	10	-	0				-	3
1	C. 固定電話使用	11	34	21	30	3	0				0	63
3	D. 既報通り無	22	41	22	16	-					-	6
0	-E. 固定保有	20	26	26	21	-	-				-	3
代	-F. 携帯電話	17	56	17	11	-	-				-	3
上												19

性別は?% 100%調査はしていない。 「-」とあらわるのは実数がない。		Q27. あなたの職業は何ですか。次のなかから一つ選んでください。										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答人 数/合計 数
全 体	11	28	2	19	20	3	16				2	100
世 代	20~30代	2	51	4	16	14	11	3			1	26
	40歳以上	14	20	2	20	22	-	21			2	73
通話相 用	A. 固定電話あり	12	25	3	19	21	3	17			1	89
	B. 固定電話なし	3	55	1	13	9	4	12			1	10
	C. 固定電話使用	12	23	2	19	22	2	17			1	91
	D. 既報通り無	4	54	4	17	8	8	8			1	18
	-E. 固定保有	4	40	0	20	8	8	4			-	8
	-F. 携帯電話	3	57	2	14	8	5	11			2	10
2	A. 固定電話あり	2	44	0	17	19	12	3			1	19
0	B. 固定電話なし	-	68	-	13	11	6	2			-	7
1	C. 固定電話使用	3	41	4	17	18	12	3			1	14
3	D. 既報通り無	-	63	3	14	8	9	3			-	12
0	-E. 固定保有	-	55	7	17	3	14	3			-	4
代	-F. 携帯電話	-	68	-	13	11	6	2			-	7
1	A. 固定電話あり	14	19	2	20	23	-	20			1	70
3	B. 固定電話なし	10	26	5	15	5	-	26			5	3
0	C. 固定電話使用	13	19	2	20	23	-	20			1	66
代	D. 既報通り無	11	32	5	29	8	-	19			3	6
1	-E. 固定保有	11	37	5	26	16	-	5			-	3
4	-F. 携帯電話	11	28	6	17	-	-	33			6	3
0												19

性別は?% 100%調査はしていない。 「-」とあらわるのは実数がない。		Q28. あなたにはお子さんがいますか。										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答人 数/合計 数
全 体	71	29									1	100
世 代	20~30代	41	59								-	26
	40歳以上	82	18								0	73
通話相 用	A. 固定電話あり	75	25								0	89
	B. 固定電話なし	39	61								-	10
	C. 固定電話使用	78	22								0	91
	D. 既報通り無	39	51								-	18
	-E. 固定保有	41	59								-	8
	-F. 携帯電話	38	62								-	10
2	A. 固定電話あり	42	58								-	19
0	B. 固定電話なし	38	64								-	7
1	C. 固定電話使用	51	49								-	14
3	D. 既報通り無	29	71								-	12
0	-E. 固定保有	17	83								-	4
代	-F. 携帯電話	26	74								-	7
1	A. 固定電話あり	84	16								0	70
3	B. 固定電話なし	45	55								-	3
0	C. 固定電話使用	84	16								0	98
代	D. 既報通り無	59	41								-	6
1	-E. 固定保有	74	26								-	3
4	-F. 携帯電話	44	56								-	3
0												19

性別は?% 100%調査はしていない。 「一」とあるのは性別がない。		Q29. あなたは一人住まいですか。それとも隣や家族と一緒に住んでいますか。										
		1 1人住 世 代 20~30代	2 夫婦 3 夫婦 4 夫婦 5 夫婦 6 夫婦 7 夫婦 8 夫婦 9 夫婦 10 夫婦 11 夫婦	男 女								
全 体	10	83	5									1 100
世 代	20~30代	16	79	4								1 66
	40歳以上	8	85	5								1 73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	6	88	5								1 89
	B. 電気電話なし	45	43	10								- 10
	C. 固定電話使用	6	89	4								1 81
	D. 電気電話使用	31	60	10								- 18
	-E. 固定保有	10	80	10								- 8
	-F. 電気保有	46	45	9								- 10
2	A. 固定電話あり	6	90	2								2 19
0	B. 電気電話なし	43	51	5								- 7
1	C. 固定電話使用	4	94	-								2 14
3	D. 電気電話使用	30	52	8								- 12
0	-E. 固定保有	10	79	10								- 4
代	-F. 電気保有	43	51	5								- 7
4	A. 固定電話あり	6	88	5								0 70
0	B. 電気電話なし	55	25	20								- 3
0	C. 固定電話使用	6	88	5								0 66
代	D. 電気電話使用	32	54	14								- 6
以 上	-E. 固定保有	11	79	11								- 3
	-F. 電気保有	56	28	17								- 3

性別は? 100%調査はしていない。 「一」とあるのは性別がない。		Q30. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。										
		1 1人住 世 代 20~30代	2 夫婦 3 夫婦 4 夫婦 5 夫婦 6 夫婦 7 夫婦 8 夫婦 9 夫婦 10 夫婦 11 夫婦	男 女								
全 体	1	7	13	19	59							1 100
世 代	20~30代	3	20	22	15	40						- 26
	40歳以上	1	3	10	20	67						0 73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	1	5	11	20	63						0 89
	B. 電気電話なし	4	27	30	12	27						- 10
	C. 固定電話使用	1	4	11	19	55						0 81
	D. 電気電話使用	3	23	23	17	55						- 18
	-E. 固定保有	-	16	14	22	47						- 8
	-F. 電気保有	5	28	29	12	26						- 10
2	A. 固定電話あり	2	15	19	17	43						- 19
0	B. 電気電話なし	5	34	30	13	17						- 7
1	C. 固定電話使用	2	12	19	17	49						- 14
3	D. 電気電話使用	4	30	25	13	28						- 12
0	-E. 固定保有	-	24	17	14	45						- 4
代	-F. 電気保有	6	34	30	13	17						- 7
4	A. 固定電話あり	1	2	9	20	68						0 70
0	B. 電気電話なし	-	10	30	10	50						- 3
0	C. 固定電話使用	1	2	9	20	68						0 66
代	D. 電気電話使用	-	8	19	22	51						- 6
以 上	-E. 固定保有	-	5	11	32	53						- 3
	-F. 電気保有	-	11	28	11	50						- 3

性別は? 100%調査はしていない。 「一」とあるのは性別がない。		Q31. あなたの現在の通住まい日、次のうちどれですか。										
		1 1人住 世 代 20~30代	2 夫婦 3 夫婦 4 夫婦 5 夫婦 6 夫婦 7 夫婦 8 夫婦 9 夫婦 10 夫婦 11 夫婦	男 女								
全 体	47	25	3	22	2	1						1 100
世 代	20~30代	35	22	2	36	4	1					1 26
	40歳以上	51	26	3	17	1	1					0 73
電 話 利 用	A. 固定電話あり	59	26	3	17	1	1					1 89
	B. 電気電話なし	3	15	3	57	7	4					- 10
	C. 固定電話使用	53	26	2	16	1	1					0 81
	D. 電気電話使用	20	19	4	49	5	3					- 18
	-E. 固定保有	43	24	4	24	2	2					- 8
	-F. 電気保有	3	15	3	68	8	3					- 10
2	A. 固定電話あり	48	24	2	22	2	1					1 19
0	B. 電気電話なし	2	15	2	72	9	-					- 7
1	C. 固定電話使用	48	27	2	20	1	-					1 14
3	D. 電気電話使用	18	16	3	55	7	1					- 12
0	-E. 固定保有	45	17	3	28	3	3					- 4
代	-F. 電気保有	2	15	2	72	9	-					- 7
4	A. 固定電話あり	53	26	3	16	1	1					0 70
0	B. 電気電話なし	5	15	5	55	5	15					- 3
0	C. 固定電話使用	53	26	3	15	1	1					0 66
代	D. 電気電話使用	22	27	3	35	3	5					- 6
以 上	-E. 固定保有	37	37	3	21	-	-					- 3
	-F. 電気保有	8	17	6	56	6	11					- 3

性別	年齢	Q32. めなたのお宅には、家庭内の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「ない」にマル）										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	年齢 別比率

性別	年齢	Q32. めなたのお宅には、家庭内の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「ない」にマル）										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	年齢 別比率
男	50代	51	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100
世	20~30代	72	28	-	-	-	-	-	-	-	1	29
代	40歳以上	55	4	-	-	-	-	-	-	-	0	73
性別 利用	A. 固定電話あり	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
	B. 固定電話なし	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	C. 家庭電話専用	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81
	D. 家庭内IP電話	43	57	-	-	-	-	-	-	-	-	18
	-E. 固定契約	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	10
2	A. 固定電話あり	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
0	B. 固定電話なし	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	7
1	C. 家庭電話専用	99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
3	D. 家庭内IP電話	38	62	-	-	-	-	-	-	-	-	78
0	-E. 固定契約	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
代	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	7
性別 利用	A. 固定電話あり	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70
	B. 固定電話なし	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	C. 家庭電話専用	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65
	D. 家庭内IP電話	51	49	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	-E. 固定契約	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	3
4	A. 固定電話あり	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
0	B. 固定電話なし	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	20
4	C. 家庭電話専用	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
0	D. 家庭内IP電話	51	49	-	-	-	-	-	-	-	-	27
代	-E. 固定契約	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18

性別	年齢	Q33. めなたは現在、スマートフォンを持っていますか。										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	年齢 別比率
男	50代	24	75	-	-	-	-	-	-	-	1	100
世	20~30代	51	49	-	-	-	-	-	-	-	-	26
代	40歳以上	14	85	-	-	-	-	-	-	-	1	73
性別 利用	A. 固定電話あり	21	78	-	-	-	-	-	-	-	1	89
	B. 固定電話なし	43	57	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	C. 家庭電話専用	20	80	-	-	-	-	-	-	-	1	81
	D. 家庭内IP電話	45	55	-	-	-	-	-	-	-	-	18
	-E. 固定契約	45	55	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	-F. 市場競争	45	55	-	-	-	-	-	-	-	-	10
2	A. 固定電話あり	50	50	-	-	-	-	-	-	-	-	19
0	B. 固定電話なし	51	49	-	-	-	-	-	-	-	-	7
1	C. 家庭電話専用	49	51	-	-	-	-	-	-	-	-	14
3	D. 家庭内IP電話	53	47	-	-	-	-	-	-	-	-	12
0	-E. 固定契約	50	45	-	-	-	-	-	-	-	-	4
代	-F. 市場競争	51	49	-	-	-	-	-	-	-	-	7
性別 利用	A. 固定電話あり	14	86	-	-	-	-	-	-	-	1	70
	B. 固定電話なし	25	75	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	C. 家庭電話専用	13	86	-	-	-	-	-	-	-	1	66
	D. 家庭内IP電話	27	73	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	-E. 固定契約	26	74	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	-F. 市場競争	28	72	-	-	-	-	-	-	-	-	3

性別	年齢	Q34. 週後に、あなたは、これまで電話を打つ時、次のどれに当たりますか。次のやうな選んでください。										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計人・ 率(%)	年齢 別比率
男	50代	12	18	21	36	12	1	-	-	-	1	100
世	20~30代	1	45	5	42	7	-	-	-	-	-	26
代	40歳以上	17	8	27	33	14	1	-	-	-	0	73
性別 利用	A. 固定電話あり	14	9	24	40	13	1	-	-	-	0	89
	B. 固定電話なし	-	97	-	-	-	1	-	-	-	1	10
	C. 家庭電話専用	15	-	26	44	14	-	-	-	-	-	81
	D. 家庭内IP電話	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	18
	-E. 固定契約	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	10
2	A. 固定電話あり	2	24	7	55	0	-	-	-	-	-	19
0	B. 固定電話なし	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	7
1	C. 家庭電話専用	2	-	10	76	12	-	-	-	-	-	14
3	D. 家庭内IP電話	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	12
0	-E. 固定契約	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	4
代	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	7
性別 利用	A. 固定電話あり	17	4	26	35	14	1	-	-	-	-	70
	B. 固定電話なし	-	90	-	-	-	5	-	-	-	5	3
	C. 家庭電話専用	18	-	20	37	15	-	-	-	-	-	66
	D. 家庭内IP電話	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	-E. 固定契約	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	-F. 市場競争	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	3

### ■投 稿 規 定■

1. (ジャンルと枚数) 投稿をお願いするのは、次のものです。

- ・論文
- ・研究ノート、判例研究、ケース
- ・資料、翻訳
- ・海外事情
- ・書評
- ・その他

以上の投稿原稿の枚数は、論文より翻訳までは 400 字該原稿用紙 80 枚を、海外事情よりその他までは同 50 枚を限度とします。投稿原稿には、投稿者名を記入せず、「図稿」「著者」など投稿者を特定出来るような表現は使用しないでください。

投稿の際はコピーと要約を各一部付けて下さい。

2. (投稿回数) 原稿受付は年1回、原則として 12 月末日とします。

3. (レフリー制) 投稿原稿は、編集委員会の審査を経て採用を決定します。

4. (投稿資格) 投稿は原則として自由です。

5. (著作権) 掲載された論文等の著作権（著作権法第 21 条～第 28 条）は埼玉大学社会調査研究センターに帰属し、投稿者はその電子化による学内外への公開を許諾するものとします。

### 編集委員会

◎松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

○今川 晃（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授）

外山 公美（日本大学法学部教授）

畠山 真一（埼玉県環境部長）

峰久 和哲（朝日新聞社編集委員）

（◎は委員長、○は副委員長）

---

2012 年 12 月 10 日 印刷

2012 年 12 月 20 日 発行

政策と調査 第 3 号

編集発行者 埼玉大学社会調査研究センター

〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保 265

電話・FAX 048-858-3120

mail: ssrc@mail.saitama-u.ac.jp

URL: http://ssrc.saitama-u.ac.jp

---

# SEISAKU-TO-CHOSA

## ( Policy & Research )

---

No.3

December 2012

---

### Contents

Foreword	Masao Matsumoto	1
Articles		
The Trial Survey by Tablet PC/Smartphone in Exit Polls	Masahiko Oguri	4
Usefulness of Exit Polls for Early Voting and The Detailed Methodology	Yoshinori Sosu	6
Problems in Election Predictions: Implications of Survey Methodology, Operations and Predictive Principles	Eiji Matsuda	10

---

Published

by

Social Survey Research Center of Saitama University  
255 Shimo-Okubo, Saitama City, Japan